

# 第1章 平成30年度事業報告

## 目次

概要	-----	1
1 活動計画	-----	1
2 会議・会合	-----	4
3 会員	-----	9
4 表彰	-----	9
5 粉体工業展	-----	10
6 常置委員会	-----	14
7 分科会	-----	29
8 粉体工業技術センター	-----	41
9 技術情報交流懇話会	-----	43
10 共催・協賛及び後援行事	-----	44
11 刊行物	-----	46

# 第1章 平成30年度事業報告

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(2019(平成31)年5月8日理事会承認済)

## 概要

わが国の平成30年度10～12月期の実質GDP成長率はプラス0.5%で、国内設備投資、特に人手不足を背景にした省力化投資の下支えが寄与した結果となりました。昨年末の日銀短観によりますと、国内経済は力強さに欠く展開であり、大企業・製造業の業況判断指数は横ばいであるとの見方でした。

このような状況下、当協会では、2018年11月28日(水)～11月30日(金)、東京ビッグサイトにて国際粉体工業展東京2018を開催し、17,966名(前回2016年比107%)という多数の来場を得て成功裡に終えることができました。また産業界が粉体分野に高い関心を持っていることも実感できました。協会の会員数も2019年3月末で388となり、過去最高となりました。

協会の3本柱の一つである、「分科会活動」においては、2018年度は粒子積層技術分科会を立ちあげ、20分科会の体制に拡充しました。

一方、当協会では平成28年度からスタートした、「平成28～30年度中期運営計画」に沿って活動を継続してきましたが、その最終年度として、期初に計画した方針および予算に基づき事業計画を滞りなく遂行することができました。

その概要について以下に報告いたします。

## 1.活動計画

### 1-1 調査・研究事業(分科会、分科会運営、技術)

調査・研究事業の中心となる分科会活動は、14の単位操作・常置型分科会と、6の目的指向・プロジェクト型分科会の合計20の分科会が、延べ53回の分科会本会合を開催しました。そのうち、単独開催が40回、合同開催が13回と、分野間の交流を通じて各技術分野の情報収集、成果の発信と将来技術への探求を行なってきました。今年度の開催回数は、前年度の49回から4回増加し、延べ参加者数は、1,889名(内、非会員33%)となりました。(前年度1,936名)

今年度はACHEMA2018がドイツで開催され、晶析、粒子加工技術、微粒子ナノテクノロジー、粉体シミュレーション技術利用分科会が同展示会で海外分科会を開催しました。昨年度設立の粉体シミュレーション技術利用分科会が、粉砕、集じん、食品粉体技術分科会との合同分科会を開催し、シミュレーション技術の利用紹介など、単位操作型分科会とのコラボレーションを図りました。また、新設した粒子積層技術分科会も微粒子ナノテクノロジー分科会との合同分科会など計2回を開催し順調なスタートを切りました。なお、電池製造技術分科会は、宿泊型を含めた年3回の分科会を単独で開催し、いずれの回も100名を超える参加者があり、最先端技術の情報発信の役割を果たしています。さらに、教育部門の行事として、単位操作・常置型分科会を中心に、8回の粉体エンジニア早期養成講座の開催に協力するとともに2分科会が専門講座を開催し、日ごろ蓄積した技術情報を協会の内外に公開しました。

委員会活動では、ナノ粒子利用技術委員会が昨年と同様に2回の委員会を実施しました。8月の委員会では「ナノ粒子の構造化、分散、コンポジット化の到達点と課題」のテーマで3件の講演、2月の委員会では「エアロゾルナノ粒子技術と空気清浄・集じんプロセスの現状と課題」のテーマで3件の講演が行われ、ナノ粒子の利用技術に関連する活発な議論がありました。

国際粉体工業展東京2018の主催者コーナーに、20分科会が近未来技術を中心にポスター展示を行いました。また、併催イベント「粉体機器ガイダンス」を開催し、「輸送」および「分級ふるい分け」分科会は、コーディネータが機器基本原理と機器選定などの概要について説明を行うとともに分科会メンバーが機器紹介を行いました。

### 1-2 広報・普及事業(総務、「粉体技術」誌編集、総覧発行、セミナー・フォーラム)

#### (1)セミナー・フォーラム

国際粉体工業展東京2018の併催行事として、特別講演、最新情報フォーラム、各種セミナー、粉体機器ガイダンスなどを開催しました。注目度の高いテーマにスポットを当てた「最新情報フォーラム」、粉体の基礎を分かりやすく解説する「粉体工学入門セミナー」など、いずれも最近話題となっているテーマであり、多数の参加者を得て、技術情報の提供や協会活動の広報・普及に努めました。

特別講演		180名
(最新情報フォーラム)		
・粉体シミュレーションの最前線	講演3件	261名
・先端材料の開発・評価	講演3件	262名
・次世代車載用電池の開発動向	講演3件	276名

・粉体の包装セミナー	講演 4 件	263 名
・粉体工学入門セミナー(3 日間)	講演 3 件	961 名
・粉じん爆発情報セミナー	講演 2 件	222 名
・海外情報セミナー	講演 4 件	117 名
・ナノ粒子利用技術に関するセミナー (粉体機器ガイダンス)	講演 4 件	208 名
・輸送	講演 1 件	299 名
・分級ふるい分け	講演 1 件	321 名

## (2) 技術情報の発信

各種技術情報は分科会会合や専門講座、セミナー、フォーラム、粉体工業技術センター 教育部門の講座を通じて発信されていますが、ホームページや月刊誌「粉体技術」も重要な発信源となっています。現在、「粉体技術」の読者の内、約 15%が協会会員以外であることも考慮して平成 30 年度は以下のような特集を組みました。

月号	特集内容	月号	特集内容
4月号	協会を支える分科会活動	10月号	ACHEMA2018
5月号	粉体シミュレーション利用技術	11月号	産業界における IoT と AI
6月号	プラスチックのリサイクル	12月号	花粉の状況と対策
7月号	災害後の生活と復旧・復興	1月号	時代が求める多様な働き方
8月号	大気環境保全の現状と対策技術	2月号	発展を続ける粉砕技術
9月号	東京 2020 オリンピック・パラリンピックと技術革新	3月号	国際粉体工業展東京 2018 を終えて

上記以外にホームページやメールマガジンも発信しており、年平均のホームページへのアクセス数は 15,148 件/月(前年 12,930 件/月)、メルマガの平均発信数は 59,395 件/月(前年 58,368 件/月)でした。

## (3) 粉体技術総覧 2018/2019 の発行

東京粉体工業展委員会にて粉体技術総覧小委員会を立ち上げ、「粉体技術総覧 2018/2019」の刷新を行いました。本総覧は粉体機器選定の資料はもとより、技術的な問合せや業務委託先の検索、粉体関連技術・機器の教育資料としても幅広く使えるものとし、各製造プロセスの概要、研究者リストも加え内容の充実を図りました。また、今回初めて「粉体技術総覧 2018/2019」の内容を網羅した WEB サイトを設け、2019 年 1 月より公開し、6,271 件のアクセスがありました。

## (4) 技術相談

国際粉体工業展東京2018では「技術相談コーナー」を開設し、3 日間で 64 件(前回、2016 年は 72 件)の相談を受け付けました。

### 1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

粉体工業分野における粉体技術の継承、専門技術者の育成と継続的教育および粉体工業に関係する人材のスキルアップを目的として、当年度も以下の講座、セミナーを開催しました。

・粉体入門セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)	3 回(合計 170 名)
・粉体エンジニア早期養成講座(8 講座)	8 回(合計 82 名)
・粉体技術専門講座(晶析、粉体ハンドリング分科会)	3 回(合計 114 名)
・粉じん爆発・火災安全研修(初級基礎編)	1 回(48 名)
・粉じん爆発・火災安全研修(中級基礎編)	1 回(52 名)

上記のように、開催回数は 16 回であり、総参加者数は 466 名となりました。1 講座あたりの参加者数は平成 29 年度の 27.1 名に対して 29.1 名(7.4%増)となりました。

### 1-4 規格・標準化事業(標準粉体、規格、粉じん爆発)

#### ・標準粉体委員会

標準粉体委員会は 2 回会議を開催しました。JIS Z 8901 に記載されている試験用粉体 1 の粒子径分布測定法については、従来と同様の沈降天秤法による測定を継続し、JIS 改定は行わないことに決定しました。一方、SAP 試験用粉体 3 については、JIS 規格化を進めるための、予備試験(継続)を行いました。

- ・規格委員会  
規格委員会は、3件の規格原案(Z 8944、Z 8801-1、Z 8819-2)を日本規格協会(JSA)に提出し、1件のJIS原案作成委員会(Z 8829 粒子径解析 - 粒子軌跡解析法)を立ち上げました。今年度発行されたJIS規格は1件(Z 8911 集じん用ろ布の劣化特性の試験方法:2018年12月20日制定)でした。
- ・粒子特性評価委員会  
粒子特性評価委員会は、ISO/TC24/SC4 Particle characterization(WG1~17)の第54回、第55回国際会議に出席、同時に新業務項目提案(NP)3件、委員会原案(CD)3件、国際規格案(DIS)1件、最終国際規格案(FDIS)2件、定期見直し(SR)3件、委員会内電子投票(CIB)2件に対して投票を行いました。
- ・ふるい委員会  
ふるい委員会は、ISO/TC24/SC8 Test sieves, sieving and industrial screensの国際会議に出席し、1件の規格について継続審議としました。
- ・集じん技術委員会  
集じん技術委員会は、ISO/TC142/WG5およびWG7会議に出席。WG7において、金岡委員長がコンベンナーに再任され、日本提案の委員会原案CD22031(WG7)が国際規格案DISとして登録されました。WG5においても、日本提案の予備業務項目PWI 16313-2が新規提案NWIとして認められました。
- ・粉じん爆発委員会  
粉じん爆発委員会は2回会議を開催しました。関西で実施するH30年度粉じん爆発・火災安全研修【初級】および関東で実施する【中級】のプログラム詳細を決定しました。

### 1-5 海外交流事業(海外交流)

APPIE Annual Reportを2018年6月に発行、2018年度の協会の行事や活動内容、情報を記載した英文レポートを作成し、協会ホームページに掲載すると同時に、約700の海外交流先(団体・個人)にメール配信しました。

海外行事関連では、下記の海外展示会で交流活動を行いました。

- ・iPBS 2018(シカゴ、4.24~26)において協会の交換ブースを設置し、協会活動と協会会員の紹介、展示会への参加を促しました。
- ・IPB 2018(中国・上海、10.17~19)にて、交換ブースおよび会員企業7社による共同出展ブースを設営し、協会活動と会員の紹介、国際粉体工業展東京2018のPR、技術相談を行いました。共同出展企業による製品紹介と協会活動紹介のプレゼンテーションも実施しました。

第8回海外情報セミナーを「海外ビジネスにおける人材確保と中国ビジネスにおける過去、現在、未来」というテーマにて、国際粉体工業展東京2018において開催しました。

また、国際粉体工業展東京2018のオープニングレセプションに、ニュルンベルクメッセより来賓を迎え、今後の関係強化を期待し楯を贈呈しました。

### 1-6 展示会事業

2018年11月28日(水)~11月30日(金)に東京ビッグサイト 東1・2・3ホールと会議棟において国際粉体工業展東京2018を開催しました。出展は287社および12団体で、1,109小間であり、出展社数は2016年よりやや減少したものの小間数は8%増加し、来場者数も17,966名と前回よりも7%増加しました。また、海外からの来場者は498名と、これも前回よりも37%増加しています。出展社からは「来訪者が多かった」との感想が聞かれ、来場者からは「併催・同時開催行事が多彩でよかった、展示物が多く見所が多かった」などの評価もあり、盛況裡に終了することができました。

### 1-7 標準粉体製造頒布事業(製造事業部門)

バリウムチタネートガラス粒子MBP1-10およびMBP10-100が、認証標準物質(CRM)に登録されたことに伴い海外向け販売を開始しました。また、新しく開設された協会のオンラインサイトと連携した海外向けカード決済が2件ありました。

売上については、90,786千円であり平成29年度実績の91,010千円から少し減少しました。一方海外売上比率は、今年度13.4%となり、平成29年度12.8%より増加しました。

### 1-8 会員共益事業(技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成)

- ・技術情報交流懇話会  
火曜会(東京4回)、水曜会(名古屋3回)、木曜会(大阪4回)、金曜会(福岡3回)、合計14回917名(前年964名)の参加がありました。
- ・推薦審査委員会  
例年通り、分科会功労賞、個人会員・会友の入会審査、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者表彰の

推薦を会長に答申、理事会で承認されました。

・人材育成委員会

若手のつどいは、関東で3回、大阪で1回、それぞれ開催しました。

また、国際粉体工業展東京2018の併催イベントとして「学生ツアー・交流会」を実施(2018年11月28日開催)しました。参加者は大学48名、企業32名、引率・関係者25名 合計105名でした。

## 2. 会議・会合

### 2.1 第37回定時総会

日時:平成30年5月23日(水) 開始午後1時

場所:東京ガーデンパレス 2階 高千穂の間

(東京都文京区湯島1-7-5)

出席者:出席正会員総数238名(出席:52名、委任状提出者:186名)

(正会員総数:375名)

定刻午後1時に、当協会定款第15条に従い、山田幸良代表理事会長が議長となり、開会を宣言し、議事に入った。

議長より、平成29年5月23日現在、当協会の議決権を有する正会員総数は375名(議決権総個数375個:法人304個、個人71個)に対し、当日出席正会員52名(当日議決権個数52個)、議決権行使書面提出者186名(書面議決権行使個数186個)、合計238名(議決権総個数238個)となり、出席者数は当協会定款17条1項に定める定足数、すなわち過半数の出席を得ていることにより、本総会が有効に成立する旨の報告があった。

引続き、議案書に基づき、報告事項2件の報告と決議事項4件の議案審議に入った。

#### 報告事項1:平成29年度事業報告ならびに平成30年度事業計画および予算

題記の件につき、豊見昭専務理事より、別冊第37回定時総会資料に基づき夫々説明があった。

平成29年度事業報告については、同資料P.1“第1章 平成29年度事業報告”に基づき、5つの公益目的事業(調査・研究事業、広報・普及事業、人材育成・教育事業、規格・標準化事業および海外交流事業)と3つのその他事業(展示会事業、標準粉体製造頒布事業および会員共益事業)について詳しい報告があった。

平成30年度事業計画については、同資料P.58“第3章 平成30年度事業計画”に基づき、活動計画として、8つの事業(調査・研究事業、広報・普及事業、人材育成・教育事業、規格・標準化事業、海外交流事業、標準粉体製造頒布事業および会員共益事業)を挙げ、これらの確実なる推進と積極的展開を通じて成果を具現化するため、「分科会活動の方向性の明確化」、「委員会の活動の活性化と費用の有効活用」、「展示会事業の積極的な取り組み」、「分科会運営委員会の活動と今期新設の粒子積層技術分科会の活動強化」を重点目標とする旨の報告があった。

平成30年度予算については、同資料P.77“第4章 平成30年度予算”に基づき、経常収益は前年度予算比で156,982千円の増収、経常費用は同じく84,300千円の増加見込みであること、および当期一般正味財産増減額として72,682千円の増加を見込んでいることが報告された。

#### 報告事項2:平成29年度計算書類などに関する監査結果報告

新井英植監事より監査報告があり、平成29年度における業務および財産の実施状況について監査を行なった結果、法令および定款に反する重大な事実はない旨の報告があった。

議長より、報告事項1および2について質疑を求めたところ、出席者よりの意見、質問はなく報告どおり了承された。

#### 決議事項

##### 第1号議案:平成29年度貸借対照表および正味財産増減計算書の承認

題記につき、豊見昭専務理事より、平成29年度貸借対照表および正味財産増減計算書の承認の件について、別冊第37回定時総会資料P.48“第2章 平成29年度決算報告”に基づき説明があった。

貸借対照表(P.50)の通り、流動資産合計は前年度比で14,893千円減少、固定資産合計は前年度比で5,559千円増加、資産合計では前年度比で9,334千円の減少となった。一方、負債合計は前年度比で10,488千円の減少であり、その結果正味財産合計は前年度比で1,154千円の増加となり、資産合計と負債および正味財産合計は共に483,669千円(前年度比で9,334千円の減少)となった旨説明があった。

正味財産増減計算書総括表(P. 48)において、経常収益計の決算値は予算比で 2,921 千円の減少、経常費用計の決算値は予算比で 33,618 千円の減少、これらの結果としての当期一般正味財産増減額の決算値は 1,304 千円、予算比で 30,697 千円の増加になることが説明された。

これらの説明に対し、議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第1号議案は原案通り承認可決された。

#### 第2号議案:特定資産「2020年展示会開催問題積立基金」積立ての取崩し

題記につき、豊見昭専務理事より、“国際粉体工業展東京2020”は、2020年11月18日から11月20日において東京ビッグサイトの新設南館で開催することとなった。これにより、2018年以降の対応積立金の積立を中止するとともに、既積立金(15,000,000円)を取崩す、旨説明がなされた。

以上の説明に対し、議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第2号議案は説明通り承認可決された。

#### 第3号議案:理事35名および監事3名選任の件

議長より、理事および監事全員の任期が本総会の終結時をもって満了となるので、平成30、31年度の理事および監事の選任について、理事・監事候補者名簿に基づき説明がなされた。

候補者のうち、赤堀肇紀、上野功圭、遠藤茂寿、大川原行雄、角井寿雄、加藤文雄、紅林哲夫、桑原敏之、齋藤直史、齋藤文良、菅原一博、棚橋純一、谷正美、谷本友秀、内藤牧男、西脇啓介、長谷川和宏、細川悦男、牧野尚夫、三宅康雄、六車嘉貢、村上徹、村田博、山田幸良、渡辺宗一の25氏が理事重任、阿部裕司、石井興一、奥山喜久夫、笠井隆、嘉村徹也、島田理史、永禮三四郎、楨野利光、松元樹、山田雅彦の10氏が理事新任、および新井英植、中川晴雄の2氏が監事重任、渡部尚氏が監事新任であるとの説明がなされた。

議長より、本議案は、議決権行使書面による議決権の行使の結果、本定時総会の前に理事候補および監事候補すべてについて過半数の賛成が得られており、議案書で提示した候補者を一括して採決することの可否を諮ったところ、出席正会員の中から「議長一任」、「異議なし」の発言があり、議長は一括して、承認を求めた。これに対して全員異議なく、第3号議案は承認可決された。

#### 第4号議案:常勤理事に対する報酬の件

議長より、第37回定時総会議案書にある、第3号議案で選任される予定である理事のうち、専務理事に選任される者の報酬については、本協会「役員報酬規程」に示す年俸限度額を上限とし、その具体的金額については、会長および理事会に一任願いたい。また、退任する予定の専務理事については、本協会の「退職金規定」に示す支給基準に従い、上記規程の範囲内で決めたいので一任願いたい旨説明がなされた。

この説明に対し、議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第4号議案は原案通り承認可決された。以上で、第37回定時総会の議事はすべて終了し、14時00分、議長は閉会を宣言した。

引き続き、午後3時00分から協会賞および細川明彦・佐知子基金による粉体工業展賞の授賞式、ならびに粉体工業功績者表彰式が行われ(9頁、4.表彰を参照)、午後4時00分からは特別講演が行われた。

演題:「粉体と粒子と静電気 -粉体の科学と技術/プラス・マイナスの逆転を中心に-」

講師:(一社)日本粉体工業技術協会 顧問 (京都大学名誉教授) 増田弘昭氏

特別講演の終了後、午後5時10分～午後6時30分にかけて、2階/高千穂の間において懇親会を行った。

## 2.2 理事会

### 第1回理事会

日 時: 平成30年5月10日(木)午後3時～午後5時10分

場 所: ANAクラウンプラザホテル大阪(3階 飛鳥の間)

(大阪市北区堂島浜1丁目3番1号)

出席者: 山田幸良会長を含め理事27名、監事2名、顧問2名、合計31名

事務局: 事務局長1名、事務局長代理1名、経理係1名

議 事:

第1号議案: 入、退会会員

第2号議案: 分科会の人事変更

第3号議案: 平成30・31年度の理事および監事

第4号議案: 平成29年度事業報告、決算報告および監査報告

第5号議案: 平成30年度事業計画と中期運営計画の確認

- 第 6 号議案:特定資産「2020年展示会開催問題積立基金」積立の取崩し  
第 7 号議案:ニュルンベルグメッセ中国との相互協力契約の締結  
第 8 号議案:(株)日刊工業コミュニケーションズとの「粉体技術総覧2018/2019」制作に係わる  
業務委託契約書(案)  
報告事項 1: 共催、協賛および後援行事  
報告事項 2: 平成 30 年度の JIS 原案作成委員会(2)設置期間の変更  
報告事項 3: 粉体工業功績者受賞者の変更

## 第2回理事会

- 日 時: 平成30年5月23日(火)午後2時  
場 所: 東京ガーデンパレス (2階:天空の間)  
(東京都文京区湯島1丁目7番5号)  
出席者:山田幸良会長を含め理事33、監事3名 合計36名  
議 事:  
第 1 号議案:会長の選定  
第 2 号議案:副会長および専務理事の選定  
第 3 号議案:常務理事の推薦  
第 4 号議案:技術情報交流懇話会(火、水、木、金曜会)担当理事の推薦  
第 5 号議案:顧問および参与の推薦  
第 6 号議案:新任専務理事に対する報酬および退任専務理事の退職金

## 第3回理事会

- 日 時: 平成30年8月3日(金)午後3時～午後5時15分  
場 所: 東京ガーデンパレス (3階:白鳳の間)  
(東京都文京区湯島1丁目7番5号)  
出席者:山田幸良会長を含め理事 28 名、監事 3 名、顧問 1 名、合計 32 名  
事務局:事務局長 1 名、事務局長代理 1 名、経理係 1 名  
議 事:  
第 1 号議案:入、退会会員  
第 2 号議案:協会規定「4-3 理事および監事の選任に関する覚書」、「4-4 会長等役員選定内規」の一部  
改定  
第 3 号議案:協会規定「10-1 技術情報交流懇話会規約」の一部改定  
第 4 号議案:協会規定「12-1 就業規則」および「12-2 定年退職者に関する内規」の一部改定  
第 5 号議案:協会規定「13-11 国内出張旅費規程(2)」の一部改定  
第 6 号議案:事務局職員の給与改定  
第 7 号議案:事務局職員(重要な人事)の採用  
報告事項 1: 共催、協賛および後援行事  
報告事項 2: 特別協賛会費の申込み状況  
報告事項 3: 平成 31 年度協会主要行事日程(案)  
報告事項 4: 海外団体への無料出展案内送付  
報告事項 5: 国際粉体工業展東京2018の予算

## 第4回理事会

- 日 時:平成 30 年 11 月 13 日(火)午後 1 時～午後 3 時 05 分  
場 所:ホテルグランヴィア京都(5階 古今の間)  
(京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR 京都駅中央口)  
出席者:山田幸良会長を含め理事 28 名、監事 3 名、顧問 1 名、合計 32 名  
事務局:事務局長 1 名、事務局長代理 1 名、経理係 1 名  
議 事:  
第 1 号議案:入、退会会員  
第 2 号議案:平成 30 年度分科会功労賞、委員会・部門功労賞の選考  
第 3 号議案:粉体工業展大阪2019に係わる粉体工学会との覚書(案)締結  
第 4 号議案:協会規定「3-4 個人会員に関する覚書」および「4-6 特別顧問、名誉個人会員および会友  
に関する内規」の一部改定  
第 5 号議案:協会規定「5-2 委員会規約」および「6-3 分科会運営に関する覚書」の一部改定  
第 6 号議案:協会規定「8-1 粉体工業センター規約」の一部改定

第7号議案:協会規定「12-1 就業規則」、「12-2 定年退職者に関する内規」、「13-6 正規職員の給与および賞与などの内規」、「13-8 退職金規程」、「13-9 役員報酬規程」の一部改定

第8号議案:協会規定「4-1 理事会規程」の一部改定

第9号議案:2019年度(平成31年度)協会主要行事日程

報告事項1:技術情報交流懇話会 開催時間変更の提案

報告事項2:粉体工業展大阪2019の計画概要

報告事項3:2019年度新個人会員の推薦募集および入会審査のスケジュール

報告事項4:平成30年度分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議の開催

報告事項5:ワールドインシュアランスブローカーズPL保険およびE&O保険の募集

報告事項6:共催、協賛および後援行事

報告事項7:代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告

## 第5回理事会

日時:平成31年3月13日(水) 午後2時30分～午後17時00分

場所:ANAクラウンプラザホテル大阪(3階:飛鳥の間)

(大阪市北区堂島浜1-3-1)

出席者:山田幸良会長を含め理事31名、監事3名、顧問1名、合計35名

事務局:事務局長1名、事務局長代理1名、経理係1名

議事:

第1号議案:入、退会会員

第2号議案:分科会および委員会の人事変更

第3号議案:組織強化委員会設置(常置委員会)

第4号議案:2019年度のJIS原案作成委員会設置

第5号議案:2019年度の受託事業

第6号議案:協会賞受賞者、粉体工業功績者および細川明彦・佐知子基金による粉体工業展賞受賞者の選考

第7号議案:ニュルンベルグメッセとの相互業務契約の締結

第8号議案:海外分科会活動

第9号議案:事務局職員(重要な人事)の採用

第10号議案:協会規程「12-3 事務局組織規程」の一部改定

第11号議案:協会規定「13-8 退職金および慰労金規程」の一部改定

第12号議案:協会規定「3-4 個人会員に関する覚書」の一部改定

第13号議案:協会規定「6-3 分科会の運営に関する覚書」の一部改定

第14号議案:2019年度の予算

第15号議案:第38回定時総会の招集

報告事項1:国際粉体工業展東京2018の決算報告

報告事項2:JAPAN PACKでの交換ブース設置

報告事項3:中小企業等経営強化法等に基づく固定資産税軽減措置制度の証明書発行の運用状況

報告事項4:事務局職員の異動(2019年4月1日付)

報告事項5:共催、協賛および後援行事

報告事項6:代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告

## 2.3 秋期定例会合

日時:2018年11月13日(火) 午後3時～午後6時50分

場所:ホテルグランヴィア京都(5階・古今の間)

(京都市下京区烏丸通塩小路下ル JR京都駅中央口)

出席者:山田幸良会長、棚橋純一、牧野尚夫、細川悦男各副会長、石井興一専務理事を含め  
合計85名

次第:

- 協会挨拶 代表理事会長 山田幸良
- ご来賓式辞 経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室課長補佐 栗原優子氏
- 2018年度協会事業の上半期実績報告 専務理事 石井興一
- 特別講演  
講演:「人工知能は人間を超えるか-ディープラーニングの先にあるもの-」  
講師:東京大学大学院 工学系研究科技術経営戦略学専攻 特任准教授 松尾豊氏
- 懇親会



## 2.4 分科会連絡会議

日 時:2019年1月25日(金) 午後1時～午後6時

場 所:名鉄ニューグランドホテル(7階・椿の間) (名古屋市中村区椿町6-9)

出席者:山田幸良会長を含め91名

(司会進行 専務理事 石井興一)

- |                               |          |      |
|-------------------------------|----------|------|
| 1. 開会挨拶                       | 代表理事会長   | 山田幸良 |
| 2. 分科会運営委員会委員長挨拶              | 委員長      | 増田弘昭 |
| 3. 協会からの連絡事項とお願い              | 専務理事     | 石井興一 |
| 4. 分科会報告                      | 各代表幹事    |      |
| 5. 第14回分科会功労賞、第5回委員会・部門功労賞表彰式 | 代表理事会長   | 山田幸良 |
| 6. 合同分科会に関わる情報交換会             | 分科会運営委員会 |      |
| 7. 自由討議                       | 分科会運営委員会 |      |
| 8. 閉会挨拶                       | 副会長      | 牧野尚夫 |

第14回分科会功労賞は10名、委員会・部門功労賞は4名の方々を受賞された(10頁 4.5 分科会功労賞、4.6 委員会・部門功労賞を参照)。

会議終了後、分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議参加のメンバーによる懇親会と情報交換会が行われた。

## 2.5 委員会・部門連絡会議

日 時:2019年1月26日(土) 午前9時30分～午後3時10分

場 所:名鉄ニューグランドホテル(7階扇の間) (名古屋市中村区椿町6-9)

出席者:山田幸良会長を含め38名

(司会進行 専務理事 石井興一)

- |                             |           |      |
|-----------------------------|-----------|------|
| 1. 開会挨拶                     | 代表理事会長    | 山田幸良 |
| 2. 協会からの報告と連絡事項             | 専務理事      | 石井興一 |
| 3. 各委員会・部門の現状と2019年度の計画について | 各委員会・部門代表 |      |
| 4. 全般討議(委員会運営に係わる全般事項等の討議)  |           |      |
| 5. 閉会挨拶                     | 副会長       | 牧野尚夫 |

## 2.6 委員長連絡会

第1回 2018年9月6日(木)

大阪/出席者16名

## 2.7 諮問会議

- |     |         |                |            |
|-----|---------|----------------|------------|
| 第1回 | (通算58回) | 2018年4月10日(火)  | 東京/出席者8名   |
| 第2回 | (通算59回) | 2018年7月10日(火)  | 東京/出席者9名   |
| 第3回 | (通算60回) | 2018年10月17日(水) | 名古屋/出席者10名 |
| 第4回 | (通算61回) | 2019年2月28日(木)  | 大阪/出席者10名  |

## 2.8 監査

日 時:2018年4月27日(金) 13:30～15:00

場 所:京都/協会本部会議室

出席者:新井英植監事、田畑信行監事、中川晴雄監事

豊見専務理事、石井事務局長、山田・志岐経理担当

議 事:平成29年度正味財産増減計画書、貸借対照表、公益目的支出計画実施報告書の監査並びに業務監査

### 3. 会 員

#### 3.1 会員数

	平成 29 年度 終了時	平成 30 年度		
		入 会	退 会	終了時
正会員	380	18	17	381
法人	304	14	8	310
個人	76	4	9	71
賛助会員	7	0	0	7
合 計	387	18	17	388

(3/31 時点)

#### 3.2 入会者

##### 1) 法人会員(14 社)

- ①(株)西部技研、②(株)服部エンジニアリング、③BS&B セイフティ・システムズ(株)、④ユニチカ(株)  
 ⑤ステインソフト(株)、⑥伊勢久(株)、⑦(株)大阪チタニウムテクノロジーズ、⑧堺化学工業(株)、⑨ウインクル(株)  
 ⑩未来宝日本(株)、⑪(株)弘輝、⑫(株)日東電機エンジニアリング、⑬(株)IDAJ、⑭(株)アイテック

##### 2) 個人会員(4 名)

- ①菰田悦之、②瀬戸章文、③森隆昌、④山村方人

##### 3) 会友(3 名)

- ①大川原武、②辻義廣、③竹内和

##### 4) 名誉個人会員(5 名)

- ①榎本兵治、②金岡千嘉男、③富田侑嗣、④中村正秋、⑤堀尾正靱

#### 3.3 退会者

##### 1) 法人会員(8 社)

- ①超音波工業(株)、②グラクソスミスクライン(株)、③全国農業協同組合連合会、④(株)北川鉄工所  
 ⑤花王(株)(第 5 研)、⑥(株)ヤマセ、⑦(株)島津テクノロジー、⑧エスオーエンジニアリング(株)

##### 2) 個人会員 (9 名)

- ①榎本兵治、②金岡千嘉男、③桑原好孝、④城石昭弘、⑤仙名保、⑥竹内学、⑦富田侑嗣  
 ⑧中村正秋、⑨堀尾正靱

### 4. 表 彰

2018 年 5 月 23 日(水)、第 37 回定時総会に引続き、第 32 回協会賞授賞式、第 25 回粉体工業展賞、第 10 回大阪粉体工業展賞ならびに第 32 回粉体工業功績者の各表彰式を行った。又、2018 年 1 月 25 日、分科会連絡会議の席上において、第 14 回分科会功労賞、第 5 回委員会部門功労賞の授与式を行った。

#### 4.1 協会賞(第 32 回)

技術賞 大矢仁史 (北九州市立大学)

技術賞 鈴木道隆 (兵庫県立大学)

#### 4.2 粉体工業展賞(第 25 回)[細川明彦・佐知子基金補助]

高倉正紀 (株式会社栗本鐵工所)

#### 4.3 大阪粉体工業展賞(第 10 回)[細川明彦・佐知子基金補助]

山本俊晴 (ツカサ工業株式会社)

#### 4.4 粉体工業功績者表彰(第 32 回)

(表彰項目別・法人会員名簿順)

No.	所 属 名	氏 名	項 目	No.	所 属 名	氏 名	項 目
1	赤武エンジニアリング(株)	遠藤征	営業	16	アイシン産業(株)	村松真司	技術
2	ヴァーダー・サイエンティフィック(株)	二宮苗央	〃	17	アシザワ・ファインテック(株)	真崎博	〃
3	(株)栗本鐵工所	寺西学	〃	18	大塚電子(株)	森澤且廣	〃
4	集塵装置(株)	原澤純一	〃	19	(株)ダルトン	古川裕章	〃
5	新東工業(株)	鈴木宏直	〃	20	ツカサ工業(株)	平祐介	〃

6	中央化工機(株)	渡邊誠	//	21	日清エンジニアリング(株)	井上真	//
7	東洋ハイテック(株)	古賀雅昭	//	22	(株)日清製粉グループ本社	萩野谷隆一	//
8	東和制電工業(株)	中根良司	//	23	(株)パウレック	坂本隆	//
9	(株)徳寿工作所	岡元稔一	//	24	ホソカワミクロン(株)	小西孝信	//
10	(株)奈良機械製作所	山河知生	//	25	ライオン(株)	木津典生	//
11	藤崎電機(株)	池田和也	//	26	エステック(株)	坪井浩美	製造
12	古河産機システムズ(株)	須長克行	//	27	塩野義製薬(株)	高田広志	//
13	フロイント産業(株)	山田宗一	//	28	日本コークス工業(株)	宇野木忠男	//
14	兵神装備(株)	稲葉清志	//	29	日本コークス工業(株)	長谷川静夫	//
15	槇野産業(株)	千葉朝男	//				

(表彰項目内訳:技術開発 10名、製造技術 4名、営業活動 15名 計29名)

#### 4.5 分科会功労賞(第14回)

(氏名 50音順)

No.	氏名	分科会名	所属先
1	越智俊夫	湿式プロセス	(株)栗田機械製作所
2	亀井利道	晶析	味の素(株)
3	齊藤陽	リサイクル技術	(株)タナベ
4	鳥居経芳	微粒子ナノテクノロジー	スペクトリス(株)
5	野田直希	集じん	(一財)電力中央研究所
6	増田勇	輸送	日本スピンドル製造(株)
7	松田朋信	クリーン化	ライオン(株)
8	森下俊哉	粉体ハンドリング	丸尾カルシウム(株)
9	山本昌幸	環境エネルギー・流動化	メタウォーター(株)
10	吉田泰三	粒子加工技術	(株)徳寿工作所

#### 4.6 委員会・部門功労賞(第5回)

No.	氏名	委員会名	所属先
1	井村俊明	集じん技術	元 アマノ(株)
2	中村彰一	粒子特性評価	大塚電子(株)
3	林浩司	粉じん爆発	アマノ(株)
4	鷺尾一裕	規格	(株)島津製作所

### 5. 粉体工業展

#### 5.1 国際粉体工業展東京 2018 (第22回)

##### 5.1.1 概要

開催テーマ:この一粒・・・夢をかたちにー粉の技術ー

会 期:2018年11月28日(水)～11月30日(金)

会 場:東京ビッグサイト 東1・2・3 ホールおよび会議棟

主 催:(一社)日本粉体工業技術協会

後 援:農林水産省、文部科学省、(国研)産業技術総合研究所、

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)

特別協賛:(一社)粉体工学会、(公社)化学工学会、(株)日刊工業新聞社、

(株)日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)

海外協賛:中国顆粒学会、中国粉体技術協会、ニュルンベルクメッセインド、ニュルンベルクメッセ中国社、  
UBM Canon、The Powder/Bulk Portal

協 賛:

塩ビ工業・環境協会

化成品工業協会

合成ゴム工業会

(公社)産業安全技術協会

(一社)資源・素材学会

製粉協会

(一社)セメント協会

(一社)電池工業会

カーボンブラック協会

環境資源工学会

骨材資源工学会

(一社)産業環境管理協会

人工軽量骨材(ALA)協会

石油化学工業協会

耐火物技術協会

(一社)東京科学機器協会

(一財)化学研究評価機構

(一財)機械振興協会

材料技術研究協会

(一社)色材協会

(一社)製剤機械技術学会

石灰石鋳業協会

タングステン・モリブデン工業会

ナノ学会

(一社)ナノテクノロジービジネス推進協議会	日本エアロゾル学会	(一社)日本化学工業協会
(一社)日本機械学会	(公社)日本空気清浄協会	(一社)日本計量機器工業連合会
(公社)日本下水道協会	(一社)日本建設機械施工協会	(一社)日本砕石協会
(公社)日本材料学会	(一社)日本産業機械工業会	(一社)日本試薬協会
(一社)日本食品機械工業会	(一社)日本食品工学会	(公社)日本水道協会
日本製薬工業協会	日本製薬団体連合会	日本石灰協会
日本石鹼洗剤工業会	(公社)日本セラミックス協会	(一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本電気計測器工業会	(一社)日本塗料工業会	(一社)日本乳業協会
(一社)日本粘土学会	(一社)日本農業機械工業会	日本肥料アンモニア協会
(一社)日本ファインセラミックス協会	日本プラスチック工業連盟	日本フレキシブルコンテナ工業会
日本粉末冶金工業会	(一社)日本包装機械工業会	日本無機薬品協会
日本薬科機器協会	(一社)ニューガラスフォーラム	(一社)表面技術協会
(一財)ファインセラミックスセンター	(一社)粉体粉末冶金協会	

展示規模:299 社・団体/1,109 小間

来場者:17,966 名(登録入場者数)

海外来場者:20ヶ国 合計 498 名

#### 同時開催:

□粉体工学会 秋期研究発表会

会期:11月27日(火)~28日(水)

11月28日(水)は技術セッション、IP 奨励賞とBP 賞の授賞式およびシンポジウムを展示会場内において公開形式で行った。

#### 併催企画:

□学生ツアー&交流会(企画:(一社)日本粉体工業技術協会 人材育成委員会)

会期:11月28日(水)

参加者数:105名(内訳:学校48名、企業32名、関係者25名)

□製品技術説明会

会期:11月28日(水)~11月30日(金)

会場:展示会場内 A ルーム・B ルーム・C ルーム・D ルーム

セッション数:82(各テーマ30分)

参加者:延べ3,326名

□特別展示ゾーン 出展社プレゼンテーション

会期:11月28日(水)~11月30日(金)

会場:展示会場内第2会場、粉の広場ステージ

参加者:延べ811名

□アカデミックコーナー(プレゼンテーションとポスターセッション)

日時:11月29日(木)

10:00-11:15 プレゼンテーション 会場:展示会場内 第2会場

11:15-12:00 ポスターセッション 会場:粉の広場

12:00-13:30 表彰式 会場:東1ホール主催者事務室

参加者:86名

◆優秀研究賞 横浜国立大学 准教授 飯島志行

◆研究奨励賞 大阪大学 接合科学研究所 助教 小澤隆弘

兵庫県立大学大学院 工学研究科 准教授 佐藤根大士

□動画放映

粉じん爆発動画(協力:粉じん爆発委員会)および粉体シミュレーション動画(協力:粉体シミュレーション技術利用分科会)の動画を粉の広場ステージにおいて終日放映をした。

#### 併催セミナー・フォーラム

□特別講演

会期:11月28日(水)

場所:東京ビッグサイト 会議棟 605・606 会議室

参加者:180名

講演者:三菱電機(株) 特別顧問／(一社)日本経済団体連合会(略称:経団連) 副会長  
山西 健一郎氏  
テーマ:「企業力の源泉と経団連が予想する未来“Society5.0”」

#### □セミナー

##### ◆最新情報フォーラム

「粉体シミュレーションの最前線」

会期:11月29日(木)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:261名

「先端材料の開発・評価」

会期:11月29日(木)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:262名

「次世代車載用電池の開発動向」

会期:11月30日(金)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:276名

「粉体の包装」 共同企画:(一社)日本包装機械工業会

会期:11月30日(金)

場所:展示会場内 第2会場

参加者:263名

##### ◆粉体工学入門セミナー

「粉の特徴と取扱いの基礎」(講演終了後、名刺交換会)

会期:11月28日(水)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:338名

「水中の粉のややこしさと面白さ」(講演終了後、名刺交換会)

会期:11月29日(木)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:291名

「粉体の加工技術」(講演終了後、名刺交換会)

会期:11月30日(金)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:332名

##### ◆粉体機器ガイダンス(機器選定の基礎)

「輸送」

会期:11月28日(水)

場所:展示会場内 第1会場

協力:輸送分科会

参加者:299名

「分級ふるい分け」

会期:11月30日(金)

場所:展示会場内 第1会場

協力:分級ふるい分け分科会

参加者:321名

##### ◆粉じん爆発情報セミナー

会期:11月28日(水)

場所:東京ビッグサイト 会議棟 605・606 会議室

参加者:222名

##### ◆海外情報セミナー「海外ビジネスにおける人材確保と中国ビジネスにおける過去、現在、未来」

会期:11月29日(木)

場所:東京ビッグサイト 会議棟 605 会議室

参加者:117 名

◆ナノ粒子利用技術に関するセミナー「ナノ粒子を用いた製造プロセスの課題と解決の糸口」

会期: 11 月 30 日(金)

場所: 展示会場内 第 2 会場

参加者:208 名

### 5.1.2 オープニングセレモニー

会期:11 月 28 日(水)

会場:東京ビッグサイト「国際粉体工業展東京2018」 東 3 ホール受付前

主催者挨拶 (一社)日本粉体工業技術協会 代表理事長 山田幸良

テープカット:全 5 名

### 5.1.3 開催記念レセプション

会期:11 月 28 日(水)

会場:東京ビッグサイト(レセプションホール A)

参加者:約 290 名

### 5.1.4 技術相談コーナー

会期:11 月 28 日(水)～11 月 30 日(金)の 3 日間

場所:粉の広場内

相談件数:64 件

### 5.1.5 公的研究機関コーナー

(国研)産業技術総合研究所、(国研)物質・材料研究機構、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構、(一財)電力中央研究所による研究内容をパネルおよび実物で展示した。

また、粉の広場ステージにおいて各団体のショートプレゼンを行なった。

### 5.1.6 主催者コーナー

・協会活動案内

(一社)日本粉体工業技術協会の案内(事業・活動方針／運営組織／会員特典／粉体工業技術センター)や協会誌“粉体技術”の紹介をはじめ、各種資料の配布およびアカデミックコーナーのポスター冊子の配布をした。

・分科会コーナー

20 分科会が、近未来技術を中心にポスター展示、さらに活動報告と次年度の活動計画をポスター展示した。

・標準粉体展示コーナー

粉じん(ダスト)、微粒子、粉体を対象として機器と部品の摩耗試験、耐久試験、防じん試験、気体・液体用浄化機器の性能試験、粉体・粉じん用測定機器の検定、校正などに使用される標準粉体を展示した。

・会員企業一覧の掲示

・世界の粉体工業展パネルの掲示

### 5.1.7 インフォメーションカウンター(三カ国語通訳常駐)／ボランティアガイド

英語、中国語、韓国語の通訳 3 名が 3 日間常駐するインフォメーションカウンターを設け、来訪者の問い合わせに対応した。延べ対応者数:894 名

また、今回はじめて、海外からの来場者に対応するボランティアガイドを試みた。

### 5.1.8 カタログ展示コーナー

新製品・新技術:7 社 7 種類、ロングセラー製品:8 社 11 種類、その他 1 社 1 種類のカタログを展示した。

### 5.1.9 粉体技術総覧 2018/2019 の発刊

展示会と連動して隔年で発行しているが、今回内容を大幅に刷新し、紙面構成の充実を図った。粉体技術に関わる情報が網羅できるよう、各製造プロセスの概要、研究者リストも加え分類を整理した。CD 配布を止め WEB 版として検索機能を追加し、2019 年 1 月にインターネット上に公開した。

15,000 部作成。(2018 東京展 10,000 部配布、2019 大阪展 5,000 部配布予定)。

### 5.1.10 SNS 抽選会

「国際粉体工業展東京2018」への来場を SNS(Twitter、Instagram、Facebook、G+) にアップすることで、商品が当たる抽選会を実施した。

特賞:AI スピーカー、特選食品ギフト  
 末賞:クッキングフラワー、靴用消臭剤「消臭ひのき」1 足用

### 5.1.11 Wi-Fi ラウンジ

東 3 ホールに Wi-Fi(公衆無線 LAN)ラウンジを設置した。

## 6. 常置委員会

### 6.1 総務委員会 (赤堀肇紀委員長、六車嘉貢、嘉村徹也各副委員長)

1.2018(平成 30)年度の事業実績概要

#### 1-1.【協会広報活動の推進】

- 1) APPIEメールマガジンの発信を継続した。
- 2) 協会ホームページの見直しおよび修正を行った。
- 3) 「事業案内」を発行した。
- 4) 会員名簿を発行した。

#### 1-2.【法人会員維持・増強の推進】

- 1) 法人会員を対象とした「協会活性化アンケート」について、分析結果に基づき、総務委員会が行うべき活性化に向けた取り組みを討議、実施した。
  - ・協会ホームページの改善
  - ・メールマガジンの改善
  - ・入会案内の見直し
  - ・会員サービス向上の施策検討(メールマガジン無料広告など)
- 2) 「国際粉体工業展東京2018」出展の非会員会社に対し入会勧誘を行った。
- 3) 過去3年間の入退会リストを作成し、入会理由・退会理由を把握し増強と退会防止について討議した。

#### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.5.11	京都/協会京都本部 会議室	9	1. 平成 30 年度総務委員会事業計画確認 2. 協会事務局からの報告(メルマガ配信・HPアクセス数等) 3. 法人会員アンケートに基づく改善活動について(対策の検討と実施)
2	2018.8.3	東京/東京ガーデン パレス 3階 鶴の間	11	1. 平成 30 年度総務委員会事業計画確認 2. 協会事務局からの報告(メルマガ配信・HPアクセス数等) 3. 法人会員アンケートに基づく改善活動について(対策の検討と実施) 4. 「粉体技術」を読んでの感想
3	2018.11.2	北九州イノベーション ギャラリー	8	1. 会員増強について(今後の方針、体制など) 2. 法人会員アンケートに基づく改善活動について(対策の検討と実施)
4	2018.12.6	大阪/ANA クラウン プラザホテル	12	1. H30 年度事業進捗状況の確認 2. 事務局からの報告(HP・メルマガアクセス数など) 3. 2019 年度事業計画、予算、委員会日程について 4. 法人会員アンケートに基づく改善

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.10.16	京都/協会京都本部 会議室	4	正副委員長会議 1. 会員増強 2. 入会案内 3. ホームページ改善について
2	2019.2.14	京都/協会京都本部 会議室	4	正副委員長会議 1. 来年度の活動方針について 2. 会員増強 3. 入会案内 4. ホームページ改善について

## 6.2 技術委員会（牧野尚夫委員長）

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

- 1) 技術委員会の体制;委員長:牧野尚夫(副会長/技術担当、電中研)  
特別委員:増田弘昭(顧問)、山田幸良(会長)、事務局:石井興一
  - 2) 業務所掌;委員会、分科会に共通する技術的問題への対応
  - 3) 現在、「技術委員会」の傘下に「技術用語検討委員会」、「ナノ粒子安全性検討委員会」および「ナノ粒子利用技術委員会」の3委員会がある。
  - 4) 「技術用語検討委員会」は、「粉体用語ポケットブック」を2017年9月末日に発刊し、書店だけでなく協会本部でも販売中であり、2019年度以降には教育部門の入門セミナーでも販売する事を決定した(詳細は、「技術用語委員会」より報告)。
  - 5) 「ナノ粒子安全性検討委員会」は活動を中止している。  
[リスク面]における技術情報のウォッチングは行い、その情報発信は「ナノ粒子利用技術委員会」で継続している。
  - 6) 「ナノ粒子利用技術委員会」は2015年度に設置され、2018年度の第1回委員会は8月7日に実施し、第2回は2019年2月8日に実施した。  
粉体産業の将来を担うナノ関連技術を主な対象として活発に活動している。(詳細は、「ナノ粒子利用技術委員会」より報告)。
2. 実施した会合、会議  
今年度は開催せず

## 6.2.1 技術用語検討委員会（牧野尚夫委員長）

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

- 1) 委員会の構成;委員長:牧野尚夫、委員:遠藤茂寿、山田昌治、白川善幸、特別委員:増田弘昭  
事務局:石井興一
  - 2) 2017年度に刊行した新書版の「粉体用語ポケットブック」(初版2,000部、本体価格1,800円、総用語数約1,400語)の初版印刷部数2,000部のうち、協会購入分1,300部の販売促進のため、2019年度から粉体入門セミナーの副読本にすることを決定した。協会での販売価格(会員本体価格1,440円、非会員は正規価格)とし、入門セミナーのテキストと一括送付とする。
2. 実施した会合、会議  
2018年度は、入門セミナーでの販売方法の決定など、販売促進に関わる調整のみだったため、会合などは実施しなかった。

## 6.2.2 ナノ粒子安全性検討委員会（明星敏彦委員長、遠藤茂寿、近藤郁各副委員長）

-休会中-

## 6.2.3 ナノ粒子利用技術委員会（奥山喜久夫委員長、伊ヶ崎文和、福井武久各副委員長）

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

- 1) 委員会の活動状況:本技術委員会は、平成27年4月1日に設置され、活動を開始した。本技術委員会の方向は、「ナノサイズならではの機能、ナノ化の利点、それを実現する取扱い・製造プロセスなど、ナノ粒子材料の利用についての技術的課題に関する情報を粉体技術業界へ提供し、会員の関連技術、装置の開発、商品化へとつなげていく」ことである。
- 2) 委員会の組織:技術委員会のメンバーは、企業関係委員、大学関係委員さらに協力分科会委員で構成されている。  
会員数が20名以上と多くなったために、コアメンバーを決めコアメンバーによる検討会を逐次開催し、委員会の方向性などを議論し、決定している。なお、ナノ粒子利用技術委員会組織:委員長○奥山、副委員長:○伊ヶ崎、○福井、特別委員:○増田顧問、○山田会長、○明星、委員:天内、梅谷、岡安、○荻、○後藤、菰田、杉村、瀬戸、竹内、谷、田原、中尾、○中村、林、久、藤、松坂、松元、矢野、横田、計26名、うちコアメンバー:9名(○印)。なお、堺化学工業(株)矢野委員が、新たにメンバーに加わった。
- 3) 活動状況:本年度は、本委員会を2回(2018年8月7日および2019年2月8日)、コアメンバーによる検討会を3回(2018年4月10日、2018年11月30日、2019年2月8日のナノ粒子利用技術委員会の後)、開催した。本委員会では、ナノ粒子材料に関連する企業関係者が、これまで経験したナノ粒子材料を含む部材・製品あるいは、ナノ粒子を含むハンドリング操作に関して、可能な限り情報をオープンにし、各種の課題を克服する方向性を明確にし、課題を絞り、関連する話題提供を行い、議論を進めている。  
なお、国際展示会ACHEMAや欧米で開催されたエアロゾルに関する国際会議に委員が参加し、注目すべきナノ粒子の合成プロセス・装置・計測や利用に関する情報を収集し、委員会において報告した。また、「粉体技術」誌(2018年10月号)の特集:ACHEMA 2018に「ナノ粒子関連機器の展示」と題して発表した。
- 4) 第1回本委員会では、「ナノ粒子の構造化、分散、コンポジット化の到達点と課題」について、広島大の荻委員、



(株)リタケカンパニーリミテドの杉村委員、(株)栗本鐵工所の藤井様が講演を行った。

第2回委員会では、「エアロゾルナノ粒子技術と空気清浄・集じんプロセスの現状と課題」について、金沢大の瀬戸委員、新東工業(株)の岡安委員、(株)竹中工務店の谷委員が講演を行った。なお、本委員会の委員が中心となり、国際粉体工業展東京2018において、ナノ粒子利用技術に関するセミナーを「ナノ粒子を用いた製造プロセスの課題と解決の糸口」というサブタイトルで開催し、(1)ナノ粒子を用いた製造プロセスの現状と課題、(2)セラミックナノ粒子材料の特性とその製造プロセス、(3)複合材料構造設計のための機能性ナノ粒子の表面改質と分散制御、(4)酸化鉄ナノ粒子の合成・分散とその応用展開、が講演され、約200名の方が参加し、盛況であった。

## 2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.8.7	京都/ホテルカンラ京都	28	「ナノ粒子の構造化、分散、コンポジット化の到達点と課題」に関する講演3件と今後の委員会活動
2	2019.2.8	京都/ホテルカンラ京都	24	「エアロゾルナノ粒子技術と空気清浄・集じんプロセスの現状と課題」に関する講演3件と今後の委員会活動

### (コアメンバー検討会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.4.10	東京/東京事務所会議室	11	・前回議事録の確認 ・第1回委員会の企画について ・国際粉体工業展東京でのセミナーについて
2	2018.11.30	東京/東京ビッグサイト	12	・前回議事録の確認 ・来年度委員会企画について ・粉体工業展(東京・大阪)でのセミナーについて
3	2019.2.8	京都/ホテルカンラ京都	11	・前回議事録の確認 ・2019年度の活動について

## 6.3 「粉体技術」編集委員会 (谷正美委員長、鈴木道隆、加納純也各副委員長)

### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

粉体関連産業の総合情報誌「粉体技術」の発行を行った。各号の特集内容は以下の通り。

月号	特集内容	月号	特集内容
4月号	協会を支える分科会活動	10月号	ACHEMA2018
5月号	粉体シミュレーション利用技術	11月号	産業界におけるIoTとAI
6月号	プラスチックのリサイクル	12月号	花粉の状況と対策
7月号	災害後の生活と復旧・復興	1月号	時代が求める多様な働き方
8月号	大気環境保全の現状と対策技術	2月号	発展を続ける粉砕技術
9月号	東京2020オリンピック・パラリンピックと技術革新	3月号	国際粉体工業展東京2018を終えて

### 2. 実施した委員会

#### (本委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.2	東京/東京八重洲ホール	15	1.2018年7月号以降の進捗、特集・担当確認 2.一般記事、コラム・取材記事などの進捗確認 3.特殊企画立案の進め方、委員会運営について 4.議事録確認と既刊号(4・5月号)の振り返り 5.その他(内規の確認など)
2	2018.9.7-8	京都/ホテルコープイン京都	19	1.2018年10月号以降の進捗、特集・担当確認 2.一般記事、コラム・取材記事などの進捗確認 3.2019年表紙デザイン選考 4.小委員会の今後の運営について 5.議事録確認と既刊号(6~9月号)振り返り 6.2022年3月号までの特集内容・担当者決定 7.その他(総務委員会からのコメントなど)
3	2018.12.8	東京/東京八重洲ホール	20	1.2019年1月号以降の進捗、特集・担当確認 2.一般記事、コラム・取材記事などの進捗確認 3.解説記事のありかたについて 4.議事録確認と既刊号(10~12月号)振り返り 5.その他(執筆要領の改訂など)
4	2019.3.9	京都/K-office	20	1.2019年4月号以降の進捗、特集・担当確認 2.一般記事、コラム・取材記事などの進捗確認

				3.本委員会、小委員会の今後について 4.議事録確認と既刊号(1～3月号)振り返り 5.その他
--	--	--	--	---

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.4.9	京都/協会本部	6	1.5・6月号記事の確認 2.特集記事での製品・商品紹介について 3.投稿募集の記載レイアウト確認
2	2018.5.14	京都/協会本部	6	1.6・7月号記事の確認 2.「規格・標準化報告」コーナーのタイトルについて 3.協会英文(Annual Report)の掲載について
3	2018.6.11	京都/協会本部	5	1.7月号記事の確認 2.粒子径分布の表し方について
4	2018.7.9	京都/協会本部	5	1.8月号記事の確認 2.粒子径分布の表し方について
5	2018.8.9	京都/協会本部	7	1.9月号記事の確認 2.新コラムの開始について 3.入門講座の進め方について
6	2018.9.11	京都/協会本部	7	1.10月号の記事の確認 2.海外企業と日本企業の海外支社表記について 3.平成30年度幹部会決定内容報告
7	2018.10.11	京都/協会本部	6	1.11・12月号記事の確認 2.粉体工業展プレビュー記事へのフロアマップ掲載に関して
8	2018.11.12	京都/協会本部	7	1.12月号、2019年1・2月号記事の確認 2.1月号巻頭カラーページについて 3.研究室紹介寄稿依頼 4.執筆要領の「作成元データ」について
9	2018.12.11	京都/協会本部	7	1.2019年1・2月号記事の確認 2.1月号巻頭カラーページについて
10	2019.1.15	京都/協会本部	6	1.2019年2・3月号記事の確認 2.執筆原稿提出前のチェックリストの確認
11	2019.2.12	京都/協会本部	7	1.2019年3・4月号記事の確認 2.粉工展報告記事での協会役職表記など 3.最上級表示、No.1表示などについて
12	2019.3.12	京都/協会本部	7	1.2019年4・5月号記事の確認 2.協会行事の年度表記について

#### 6.4 推薦審査委員会 (加藤文雄委員長、赤堀肇紀副委員長)

##### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

・年3回の会合で、各賞の表彰規定に則り、審査業務を実施した。

##### 2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.10.19	京都/協会本部会議室	8	1.前回議事録の確認について 2.分科会功労賞および委員会・部門功労賞選考について 3.その他
2	2019.1.18	京都/協会本部会議室	9	1.個人会員候補者の選考について 2.会友候補者の選考について 3.個人会員の名誉個人会員への移行について 4.その他
3	2019.2.15	京都/協会本部会議室	8	1.協会賞候補者の選考審査について 2.粉体工業展賞候補者の選考審査について 3.粉体工業功績者候補の選考審査について 4.その他

(小委員会) 開催なし

## 6.5 粉体工業展委員会 (山田幸良委員長、村田博、菅原一博各副委員長)

### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

#### 1)2018 中部パック参加

- ・平成30年4月18日(水)～21日(土)、ポートメッセなごや 2、3号館
  - ・協会ブース:幅2.97m×奥行2.97m、1小間、ポスター&雑誌の展示とパンフ&チラシ配布
  - ・同来場者:無人ブース
- 32万円の支出でパンフレット&チラシ配布数は合計101部。次回からは出展しない方針。

#### 2)FOOMA JAPAN 2018(国際食品工業展2018)参加

- ・平成30年6月12日(火)～15日(金)、東京ビッグサイト 東1～8ホール
- ・食品機械を中心に原料処理から製造、物流にいたるまで食品製造プロセスのすべてを網羅したアジア最大級の「食」の総合展(出展社数:798社)
- ・協会ブース:幅3m×奥行2.5m、1小間  
ポスター&雑誌の展示とパンフ&チラシ配布
- ・同来場者:4日間で64名(一般:51、協会関係者:13)

#### 3)国際粉体工業展東京2018を開催(詳細は東京粉体工業展委員会より報告あり)

- ・平成30年11月28日(水)～30日(金)、東京ビッグサイト
- ・開催規模:295社・団体/1109小間(前回:318/1025)
- ・来場者:17,966名(前回:16789 … 7.0%増)
- ・経済産業省産業機械課玉井課長、栗原課長補佐、他3名が粉工展に来場。
- ・ニュルンベルグメッセから3名来場、レセプションに出席し、楯を授与。
- ・2020年(オリンピック開催年)問題は、東京ビッグサイト新設南館で開催する。

### 3. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.2.6	二地点テレビ会議	11	1. 2019年10月開催「粉体工業展大阪2019」の出展募集状況の説明(現状ではほぼ満小間) 2. 会員企業の出展希望を受け入れるという大前提で、今後の対応を決定した。

## 6.5.1 東京粉体工業展委員会 (村田博委員長、大川原正明、榎野利光各副委員長)

### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

◇国際粉体工業展東京2018(第22回)を盛会裏に終了することが出来た。

実績概要は以下の通り。【 】内は前回2016実績

開催日時:平成30年11月28日(水)～11月30日(金) 9:30～17:00

会場:東京ビッグサイト 東1・2・3ホールおよび会議棟

出展社数:299社・団体【317】

内訳 会員136【138】、一般151【171】、団体12【8】

出展小間数:1,109小間【1,025】

内訳 会員661【623】、一般243【235】、主催者関連205【167】

来場者数:17,966名【16,789名】

内訳 28日5,560名、29日5,902名、30日6,504名

併催行事:ほぼ満席状態

### 2.実施した会合、会議

(東京粉体工業展委員会) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(5)	2018.5.11	東京/種苗会館	26	1.出展状況報告 2.出展促進・広報活動計画 3.併催行事企画 4.粉の広場企画 5.その他
2(6)	2018.7.19	東京/種苗会館	21	1.出展状況報告 2.広報活動計画 3.併催・同時開催行事 進捗状況 4.粉体技術総覧改訂について 5.粉の広場企画 全体レイアウト案、テーマ展示 6.その他
3(7)	2018.10.12	東京/種苗会館	28	1.広報企画と実施計画

				2.開催規模とレイアウトについて 3.併催・同時開催行事 進捗・役割分担確認 4.粉体技術総覧改訂について 5.粉の広場企画 6.各種アンケート確認 7.その他
4(8)	2019.2.7	東京/浜松町東京會館	40	会場運営委員会と合同反省会 1.結果報告/各種アンケート報告 2.併催行事(粉の広場)小委員会コメント 3.広報(出展・来場促進)小委員会コメント 4.会場運営実行委員会コメント 5.学会関係コメント 6.粉体技術総覧小委員会コメント 7.収支報告 8.協会事務局コメント 9.協会幹部コメント 10.今回の反省および今後の課題について討論

(正副委員長会議) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(5)	2018.4.10	協会東京事務所	9	第1回 本会議議題について
2(6)	2018.7.9	協会東京事務所	8	第2回 同上
3(7)	2018.10.2	協会東京事務所	9	第3回 同上
4(8)	2018.11.15	協会東京事務所	9	進捗状況の最終確認
5(9)	2019.1.30	協会東京事務所	9	第4回 同上

(広報出展) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(4)	2018.6.7	協会東京事務所	16	出展状況および広報活動
2(5)	2018.8.7	協会東京事務所	15	同上

(粉体技術総覧) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(6)	2018.4.13	東京/種苗会館	15	申し込み状況と紙面構成
2(7)	2018.6.20	東京/種苗会館	12	申し込み状況とWEBページ
3(8)	2018.8.7	東京/種苗会館	12	同上
4(9)	2018.9.26	東京/種苗会館	13	機器分類の確認と研究者一覧
5(10)	2018.10.22	東京/種苗会館	10	WEBページと協会ページ
6(11)	2018.11.19	東京/種苗会館	9	会場への搬入および保管
7(12)	2018.12.25	東京/種苗会館	14	出版本の反省とWEBの最終確認

(会場運営実行委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.10.12	東京/種苗会館	26	会場運営実行委員会マニュアルの確認
2	2019.2.7	東京/東京會館	40	東京粉体工業展委員会と合同反省会

## 6.5.2 大阪粉体工業展委員会 (菅原一博委員長、高倉正紀、花川忠己各副委員長)

### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

粉体工業展大阪2019開催に向けて、委員会活動を開始した。

#### ◎委員会構成:

本委員会…委員長:菅原一博、副委員長:加藤文雄、高倉正紀、花川忠己

会計監査:海老原裕之、委員:16名、事務局4名、展示会事務局3名(CNT)

小委員会…(出展促進)主査:花川忠己、(会場運営)主査:高倉正紀、

(併催行事企画)主査:後藤邦彰、(広報)主査:増田泰久

### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.7.12	京都/協会本部会議室	22	1.委員会の構成、委員紹介 2.委員の役割分担について 3.会場予約状況報告(開催日程、会議室予約状況)

				4.基本構成、開催概要検討 5.開催までのスケジュール
2	2018.10.3	京都/協会本部会議室	25	1.開催要項デザインの検討 2.開催要項内容の確認 3.出展対象企業、出展促進計画 4.併催イベントについて
3	2019.2.6	京都/協会本部会議室	26	1.出展状況確認と今後の出展促進計画の検討 2.併催イベント状況報告 3.出版ブースと広報計画 4.同時開催展示会について

(併催行事企画小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.10.3	京都/協会本部会議室	14	1.会場予約状況、スケジュールについて 2.テーマ、依頼先の検討 3.開催までのスケジュール
2	2019.2.6	京都/協会本部会議室	14	1.テーマ、依頼先の状況確認 2.全体スケジュールの確認 3.各テーマの集客(聴講対象者)について

## 6.6 分科会運営委員会 (増田弘昭委員長、伊ヶ崎文和、浅井信義、鈴木康夫各副委員長)

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

下記 2. に示す通り拡大分科会運営委員会の準備および実施、分科会活動の現状と課題の検討ならびに整理を行って協会としての分科会活動が将来に向かって順調に発展するように議論を進めた。また、第 20 番目の分科会として粒子積層技術分科会が立ち上あげた。なお、今後 2019 年1月開催の分科会連絡会議での課題整理と 2019 年度の事業計画の詳細を策定する。

### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.7.13	京都/協会本部会議室	9	・前回議事録の確認 ・拡大分科会運営委員会準備 ・総務委員会アンケート結果
2	2018.8.24 拡大分科会運営委員会	京都/メルパルク京都	35	・粒子積層技術分科会新設 ・分科会活動の現状と課題(3分科会) ・自由討議
3	2018.10.26	京都/協会本部会議室	9	・分科会運営相談会と拡大分科会運営委員会にて提起された問題点の整理と検討 ・委員長連絡会の報告 ・分科会連絡会の次第と役割分担
4	2019.3.18	京都/協会本部会議室	10	分科会連絡会議での課題整理と 2019 年度の事業計画

(小委員会)

開催なし

## 6.7 海外交流委員会 (浅井信義委員長、横山豊和、田辺大二各副委員長)

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

- 1) APPIE Annual Report 発行(6月)2018年度の協会の行事や活動内容、情報を記載した英文レポートを作成し、協会ホームページに掲載すると同時に、約 700 の海外の交流先(団体・個人)にメール配信した。
- 2) iPBS 2018 シカゴ(4.24~4.26) 交換ブース設置  
現地に説明員(浅井委員長)を派遣し交換ブースを設置した。ブースにて協会活動と協会会員の紹介、展示会への参加を促した。
- 3) IPB 2018(中国・上海粉体工業展、主催 NM China、10.17~10.19) 交換ブース設置  
現地にて、田辺副委員長の下、協会ブース(無料)を設営した。ブースにて協会活動と協会会員の紹介、国際粉体工業展東京 2018 の PR、技術相談を行った。協会会員企業による共同出展(Japanese Pavilion)も設営した。会員会社 7 社の共同出展があった。今回は展示会場内で共同出展企業による製品紹介と協会活動紹介のプレゼンテーションも実施した。
- 4) 第 8 回海外情報セミナー開催(国際粉体工業展東京 2018 にて開催)  
トピックス「海外ビジネスにおける人材確保と中国ビジネスにおける過去、現在、未来」というテーマで開催

(11.29)した。講演 4 件で参加者は 117 名であった。

5) 海外支援活動の見直し

今日まで続けてきた海外支援活動の整理と見直し作業を開始した。今年度は「タイ粉体工学センター (TPTC、1993 年発足)」や「韓国粉体工業協会 (KAPPIE、1995 年発足)」など、交流契約と展示会への無料交換ブース提供についての見直し作業を開始した。

6) 国際粉体工業展東京 2018 にて、「世界主要粉体工業展紹介パネル」を製作して展示した。

7) 国際粉体工業展東京 2018 のオープニングレセプションに、ニュルンベルクメッセより来賓を迎え、今後の関係強化を期待し楯を贈った。

2. 実施した会合、会議

(全体会議)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.22.	東京/種苗会館	12	1. 2018 年度事業計画確認 2. iPBS2018 報告 3. 第 8 回海外情報セミナー計画 4. IPB 2018(上海)出展計画 5. その他
2	2018.10.5.	京都本部	14	1. 第 8 回海外情報セミナー計画 2. IPB 2018(上海)出展計画 3. POWTECH2019 出展計画 4. 海外団体との連携見直し 5. その他
3	2019.3.8	東京/種苗会館	11	1. 次年度事業計画の確認 2. 第 9 回海外情報セミナー企画 3. POWTECH2019 出展内容確認 4. IPB 2019対応について 5. 海外団体との連携見直し 6. その他

(正副委員長会議)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.5.10	東京/種苗会館	4	1. 2018 年度活動方針 2. 第 8 回海外情報セミナー企画状況 3. IPB 2018(上海)共同出展企画状況 4. NM インドからの相互協賛依頼 5. iPBS 2018(シカゴ)出展報告と今後の対応 6. その他

**6.8 人材育成委員会** (三宅康雄委員長、榎野利光副委員長、荻田容宏副委員長)

1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

1)若手のつどいを開催(年 4 回、うち 3 回は東京と関西で講演方式、1 回は大学研究室見学)

2)国際粉体工業展東京 2018 学生ツアー・交流会の企画運営(平成 30 年 11 月 28 日(水)開催)

・工学院大学・山田昌治先生による講演「粉体技術者になろう」

・若手先生による展示会ツアー・および交流会

・参加者:学校 48 名(外国人 8 名)、企業 32 名、先生および委員&関係者 25 名 合計 105 名

3)大学への求人:委員会として実施する本来の趣旨は、会員企業の採用方法調査結果を先生方に提供し、学生のリクルート活動、第二新卒者や卒業後短期的に転職を希望する若手 OB/OG の門戸を広げる事であった。大学側からは新卒の採用活動を企業側が必要としていて、大学に依頼した求人活動と位置づけたいとの事であった。

人材育成委員会としての当初の趣旨と乖離が見られたので、窓口である後藤先生と協議した内容でのアンケートを行い結果報告した

連続しての求人アンケートは実施しない事と情報提供に協力された会社に対してはこれ以上の対応は取らないこととした。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.6	東京/種苗会館 6F 会議室	13	1.前回議事録の確認 2.次回(2018 年 8 月)および今後の「若手のつどい」 ・機山館の若手のつどい費用について

				3.「国際粉体工業展東京 2018 学生ツアー・学生交流会」 4.本日(通算第 64 回)「若手のつどい」役割分担、進行方法 5.その他 ・大学への求人
2	2018.8.30	大阪/ホソカワミクロン(株)	14	1. 前回議事録の確認 2.次回および今後の「若手のつどい」 3.「国際粉体工業展東京 2018 学生ツアー・学生交流会」 4.本日(通算第 65 回)「若手のつどい」役割分担、進行方法 5.その他
3	2018.10.11	東京/種苗会館 6F 会議室	12	1.前回議事録の確認 2.本日の「若手のつどい」役割分担 3.次回(2019 年 3 月)の「若手のつどい」 4.「国際粉体工業展東京 2018 学生ツアー・交流会」 5.2019 年度の委員会(事業計画・予算)と「若手のつどい」 6.その他
4	2019.3.25	場所:千葉大工学部/松韻会館 1F	13	1. 前回議事録の確認 2. 本日の「若手のつどい」役割分担 3. 次回(2019 年 6 月)の「若手のつどい」 4. 国際粉体工業展東京 2018「学生ツアー・交流会」報告 5.「粉体工業展大阪 2019」学生ツアー・交流会 6. 2019 年度の委員会(事業計画・予算)と「若手のつどい」 7. その他

(若手のつどい)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.6	東京/ ホテル機山館	58	第 64 回講師:チームセルモ総監督 浜島裕英氏による講演。テーマ:「タイヤは命を乗せている」
2	2018.8.30	大阪/ ホソカワミクロン(株)	53	第 65 回講師:辻裕氏による講演。テーマ「ビジネスと言葉の壁」
3	2018.10.11	東京/ ホテル機山館	54	第 66 回講師:金子よしえ氏による講演、テーマ:「上手な話し方のポイント」
4	2019.3.25	千葉/千葉大学工学部 松韻会館 1F	39	第 67 回 4 人の先生方による、プレゼンテーション、研究室見学、情報交換など

## 6.9 標準粉体委員会 (森康維委員長、後藤邦彰副委員長)

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

- ・MBP ガラス粒子を標準物質(CRM, RM)として世界的な機関(COMAR)に収録された。収録データに誤りがあったので、訂正を申し出ている。
- ・JIS Z 8901「試験粉体 1」改訂では、粒子径分布測定方法は沈降天秤法とし、市販が検討されている沈降天秤法装置あるいは製造委託先の装置改良品で対応することとした。X 線透過沈降法は代替の可能性が高いが、干渉沈降現象などの問題を解決する必要があり、今回は見送ることとした。また、レーザ回折散乱法は、試験粉体 1 の利用者の便宜のために代表的な粉体の測定結果を、付録あるいは解説として記載することになった。
- ・JIS Z 8901「試験粉体 1」改訂では、ポリスチレンラテックスに関する記載はそのままにすることとした。
- ・規格委員会から要請されている SAP 14-12「SAP 試験用粉体 3」を JIS 規格化に当たって、JIS Z 8901 の枝番とすることとした。粒子径分布測定方法をレーザ回折散乱法とするために、装置メーカーの委員に測定を依頼し、その測定結果からレーザ回折散乱法を採用できる可能性が高いことを確認した。

### 2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.11.9	協会本部会議室	14	1. ガラスビーズ(MBP 粒子)の認証標準物質登録結果の確認と修正作業状況 3. JIS Z 8901「試験粉体 1」改訂に向けて ・島津型沈降天びんの後継機の準備状況 ・ペネトアナライザーを改良した後継機の紹介 4. 炭酸カルシウム粉体をレーザ回折散乱法装置で測定する場合の問題点の提起
2	2019.2.21	協会本部会議室	11	1. ガラスビーズ(MBP 粒子)の COMAR database 内容の確認 2. JIS Z 8901「試験粉体 1」改訂に向けて(レーザ回折散乱法

				での測定結を評価) 3. SAP 14-12「SAP 試験用粉体 3」の粒子径分布測定法の検討(レーザ回折散乱法での測定結果の評価)
--	--	--	--	---

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.2	協会本部会議室	13	JIS Z 8901「試験粉体 1」および SAP 14-12「SAP 試験用粉体 3」のレーザ回折散乱法装置で測定した粒子径分布結果の検討

## 6.10 規格委員会 (遠藤茂寿委員長、松山達副委員長)

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

#### 1-1 JIS 規格の作成・見直し

##### 1) JIS 原案作成

- ・Z 8819-2 粒子径測定結果の表現－第 2 部:粒子径分布からの平均粒子径およびモーメントの計算(改正, ISO 9276-2:2014 に対応): 2019 年 2 月に JSA 提出。(委員長:遠藤)
- ・Z 8829 粒子径解析 - 粒子軌跡解析法(制定, ISO 19430:2016 に対応):平成 30 年度区分 C で実施(委員長:綾氏)

##### 2) JIS の定期見直し

- ・9 件見直し調査を実施, 次の一件を除き, 継続。
- ・Z 8826:2005(光子相関法)は, 改正した Z 8828(DLS)に統合されるため, 廃止。

##### 3) 作成済みおよび発行予定

- ・Z 8828 粒子径解析—動的光散乱法(改正, ISO 22412:2017 に対応):2019 年 1 月 21 日制定
- ・Z 8911 集じん用ろ布の劣化特性の試験方法(改正, ISO 16891:2016 に対応):2018 年 12 月 20 日制定
- ・Z 8844 微小粒子の破壊強度および変形強度の測定方法:2019 年 2 月 20 日制定
- ・Z 8801-1 試験用ふるい - 第 1 部:金属製網ふるい(改正, ISO 3310-1:2016 に対応):2018 年 11 月に JSA に提出

#### 1-2 協会規格の作成・見直し

##### 1) 原案作成:なし。

##### 2) 見直し

- ・SAP 05-98:2013(粉体の仕様表示方法に関するガイドライン)見直し。将来, JIS 等との整合性を見て粒子特性評価関係者の協力を得て改正する。

#### 1-3 規格・標準化事業の成果の普及・広報

##### 1) 粉体技術誌上での事業・規格の紹介

- ・JIS Z 8837(ガスピクノメータによる骨格密度測定)および JIS Z 8850(凝縮粒子計数器の検定)の紹介記事を 6 月号および 8 月号に掲載

##### 2) 標準化セミナー

- ・第 1 回「微粒子の液中分散に役立つ評価とテクニック—液中ナノ粒子の特性評価の国際標準と分散操作」
- ・2018 年 9 月 13 日(木)10:00 より化学会館にて実施。参加者数:59 名
- ・収支面では約 30 万円の計上となった。
- ・アンケートの回答では各講義について「満足」, 「やや満足」が概ね 9 割を占めた。

#### 1-4 規格関連委員会の動向把握

- ・関連する ISO(TC 24, TC 24/SC 4 および SC 8, TC 142/WG 5 および WG 7, TC 229, TC 261, TC 281) および薬局方の動向について, 参加している委員から報告を受け, 状況の把握を行った。
- ・標準粉体委員会における情報も把握した。

### 2.実施した会合、会議

(本委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.5.17	東京/種苗会館 6 階 会議室	12	1. 規格作成等に関わる協会規程の確認 2. 前回議事録の確認 3. 規格類(SAP, JIS, ISO)の確認 4. JIS 規格見直しおよび原案作成 5. 規格・標準化に関する広報 6. 規格関連委員会の動向 7. その他
2	2018.12.7	東京/種苗会館 6 階 会議室	12	1. 前回議事録の確認 2. 協会関与の標準化作業(SAP, JIS, ISO) 3. 規格・標準化に関する広報・標準化セミナー



				4. 規格関連委員会の動向 5. 規格委員会の今後の体制 6. その他
--	--	--	--	---

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.2.26	協会東京事務所	6	1. 第2回標準化セミナーの概要 (時期、場所、テーマ等) 2. その他

### 6.10.1 粒子特性評価委員会 (桜井博委員長、伊申達夫副委員長)

#### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

本委員会は現在45名の委員により構成され、ISO/TC 24/SC 4(粒子特性評価委員会)において行われている粉体・粒子測定に関するISO国際標準化活動に参加し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動を行っている。平成30年度も、規格文書の作成、新たな規格の提案、承認投票、定期見直し等の作業を行うとともに、2回の国際会議に代表団を派遣し、文書案の審議を行った。また、年2回の頻度で委員会を開催し、規格作成や国際会議での審議の方針について検討を行った。

#### 1) ISO/TC 24/SC 4 第54回国際会議(平成30年4月5～6日、イギリス・ロンドン)における規格審議

・参加者:議長(ドイツ)、副議長(日本・松山氏)、国際幹事(イギリス)の他、9カ国から計57名、合計60名。当委員会からは16名が参加。

・14のWG会合が開催され、ISO規格案の審議を行った。8件のResolutionが採択された。

#### 2) ISO/TC 24/SC 4 第55回国際会議(平成30年10月15～16日、中国・上海)における規格審議

・参加者:議長(ドイツ)、副議長(日本・松山氏)、国際幹事(イギリス)の他、6カ国から計51名、合計54名。当委員会からは14名が参加。

・11のWG会合が開催され、ISO規格案の審議を行った。19件のResolutionが採択された。

#### 3) 各審議段階での投票、規格発行、定期見直し、新規提案の件数(平成30年1月～12月)

・新規提案(NP)3件、委員会段階(CD)3件、照会段階(DIS)1件、承認段階(FDIS)2件、定期見直し(SR)3件、SC内投票(CIB)2件に対して投票を行った。

・2つのISO規格、1つの技術報告書が発行・改定された。うち、ISO 21501-4:2018は当委員会が主導して改定を行ったもの。

#### 4) 規格委員会主催の標準化セミナーにて当委員会委員が講師を務め、開催を支援した。

・開催日:平成30年9月13日

・セミナー名:第1回標準化セミナー「微粒子の液中分散に役立つ評価とテクニック-液中ナノ粒子の特性」

#### 5) 工業標準化事業表彰

・経済産業大臣表彰 遠藤氏

#### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.7.4	東京/種苗会館6階	39	1. 第54回ISO/TC 24/SC 4 ロンドン会議報告 2. 第55回ISO/TC 24/SC 4 上海会議への対応 3. 規格委員会、他TC報告
2	2018.12.11	東京/種苗会館6階	37	1. 第55回ISO/TC 24/SC 4 上海会議報告 2. 第56回ISO/TC 24/SC 4 グラーツ会議への対応 3. 規格委員会、他TC報告

(WG 3)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.12.11	東京/種苗会館5階	5	1. ISO 15901-2 のドラフトに関して

(WG 7)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.7.4	東京/種苗会館5階	7	1. DTR22814 の投票 2. PWI19430-2 のドラフト

(WG 8)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.12.11	東京/種苗会館5階	6	1. ISO 15901-2 のドラフトに関して

(WG 9)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.7.4	東京/種苗会館5階	6	1. ISO/FDIS 21501-4 の投票結果報告

				2. ISO 21501-2, -3 の改正作業方針とスケジュール 3. 発生器法による計数効率の評価
--	--	--	--	--

(WG 12)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.4.19	ウェブ会議	5	1.ロンドン会議報告 2.ISO 19996: +/-イオン濃度バランスを崩した両極荷電装置を用いた無帯電粒子比率測定結果報告
2	2018.7.4	東京/種苗会館 6 階	7	1.荷電調整装置の出荷検査法評価試験結果報告 2.10 月上海会議にて提案する ISO 19996 荷電調整装置の出荷検査法骨子の決定。
3	2018.9.28	ウェブ会議	5	1.ISO 19996 出荷検査法案の検討。
4	2018.12.11	東京/種苗会館 6 階	6	1.上海会議報告 2.9/28 ウェブ会議での未検討コメントの検討。

**6.10.2 ふるい委員会** (松山達委員長)

1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

・活動実績

SC8 会議(2018 年 10 月, 上海)に出席。

1 月 29 日に委員会を開催

JIS の SR3 件について「継続」とした。

Z 8801-2:2000 試験用ふるい - 第 2 部:金属製板ふるい

Z 8801-3:2000 試験用ふるい - 第 3 部:電成ふるい

Z 8815:1994 ふるい分け試験方法通則

ISO の SR1 件について「継続」とした。

ISO3310-2: Test sieves -- Technical requirements and testing

- Part 2: Test sieves of perforated metal plate

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.1.29	東京事務所・京都事務所 TV 会議	13	1. SC8 会議(2018 年 10 月, 上海)報告 2.その他

**6.10.3 集じん技術委員会** (金岡千嘉男委員長、福井国博副委員長)

1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

WG-A (TC146/SC1 に対応): 現在休止中

WG-B (TC142/WG7 に対応):ISO/CD 22031(Sampling and test method for cleanable filter media taken from filters of systems in operation)の進捗が予想外にスムーズに進み CD として投票された。実質的な論議を 9 月に開催された TC142 北京会議において開始した。

ISO22031 に関して、試験項目の限定に対する異論がドイツより示されたが、有効との反論を行い、次回投票までに実施例、測定例の提供および規制の取込みを目的に意見を要請する事にした。2019 年 2 月に DIS 登録(40.00)となった。

WG-C (TC142/WG5 に対応): ISO/PWI 16313-2(Laboratory test of dust collection systems utilizing porous filter media online cleaned using pulses of compressed gas -- Part 2: Systems utilizing integrated fans)について、北京会議で日本より Part1 との違いおよび試験方法となる各ステージについて説明した。今回の会議にて、目標としていた ISO16313-2 の活性化投票への登録のための Resolution を獲得、NWI として認められた。2019 年 1 月、新規プロジェクトとして登録(10.00)されるとともに、活性化投票が開始(10.20)された。

2.実施した会合、会議

(委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.4.24	東京/種苗会館 6 階	12	1. 本年度の体制と方針 2. 経済産業省 工業標準化推進事業委託費 平成 30 年度実施計画書 3. ISO/TC142/WG-5、WG-7 の現状報告
2	2018.10.22	東京/種苗会館 6 階	15	1.平成 30 年度北京出張報告 (ISO/TC142 報告)

なお、2018/7/24 に正副委員長会議を(テーマ案の協議)、2018/8/30 に次期テーマ検討会議を(今期テーマの進

捗状況および今期の実施事項、達成目標、来期テーマ候補)、2018/9/5 に平成 30 年度補助事業進捗説明および次期テーマ候補説明会(今期テーマの進捗状況および今期の実施事項・達成目標、次期テーマ候補)をそれぞれ実施した。

(WG-B)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.4.24	東京/種苗会館 6 階	12	1. H29 年度実施結果の報告 2. H30 年度の計画
2	2018.6.5	東京/種苗会館 6 階	13	1.集じん技術委員会からの報告 2.ろ布抜き取り試験(B-1) 3.ろ布耐久試験結果報告(B-2~4) 4.投票について (B-5~6) 5.ろ布性能・劣化の状態・トラブル調査の手法 (B-7) 6.今後の予定
3	2018.10.22	東京/種苗会館 6 階	15	1.北京会議 2.ろ布耐久試験結果報告

(WG-C)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.4.24	東京/種苗会館 6 階	12	1. H29 年度実施結果の報告 2. H30 年度の計画
2	2018.10.22	東京/種苗会館 6 階	15	1.北京会議 2.試験結果報告 3.ラウンドロビンテスト

(WG-C 作業部会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.5	東京/種苗会館 6 階	13	1.集じん技術委員会からの報告 2.Part-1 の投票結果 (C-1) 3.テスト方法(C-2~3) 4.試験粉体の再利用(C-4~6) 並びに国内調達試験粉体 5. Part-2 における Stage-1、Stage-2 の対応 6.ラウンドロビンテスト 7.今後の予定

(国際会議)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.9.18-21	中国/北京 TC142 総会および WG5,7 会議	6	ISO16313-2 活性化に向けた協力の要請 中国エネルギー社研究所および発電所見学 韓国エキスパートへの WG5,WG7 への協力要請 ISO16313-2 提案実験手法および実験結果の説明 ISO/CD22031 規格案の DIS 化への協議 次期規格化テーマについての検討、採択

なお、H30.8.1-4 に瀋陽/中国:東北大学で会議を実施した。(WG5 および WG7 の共同提案国に関する協議、北京会議における WG5 および WG7 の審議内容の協議)

**6.10.4-1 平成 30 年度 JIS 原案作成委員会(1)** (遠藤茂寿委員長)

JIS Z8819-2 粒子径測定結果の表現－第 2 部:粒子径分布からの平均粒子径または平均粒子直径およびモーメントの計算

1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

1-1 概要

- ・2014 年に改正された ISO 9276-2:2014 Representation of results of particle size analysis -- Part 2: Calculation of average particle sizes/diameters and moments from particle size distributions に対応する JIS Z 8819-2 改正原案を作成した。
- ・ISO 9276-2:2014 は、種々の基準の分布のモーメントから平均粒子径を求める表記法(モーメント法)に加え、BS 2955 に規定されている個数分布に基づいた分布のモーメントの比による平均粒子径の定義、表記(モーメント比法)および計算方法を加えた規格に改正された。モーメント比法による表記は、モーメント法と異なる。例えば、比表面積平均径は、モーメント法では  $x_{1,2}$ 、他方、モーメント比法では  $D_{3,2}$  と表記される。ISO 9276-2 では両者の対応関係をより明確に規定した。

- ・この改正では ISO に記載されている技術的内容および構成を変更することなく(IDT), JIS とした。なお読者が容易に理解できるような適切な表現で記載する。
- ・2019年2月に原案を日本規格協会へ提出した。

#### 1-2 主な改正事項

- ・箇条5に ISO に加えられたモーメント比表記法による平均粒子径の定義および表記並びに平均粒子径および分布のパラメータの計算に関する記述を追加した。
- ・箇条6に、従来のモーメント表記法とモーメント比表記法との関係を記載した。
- ・附属書Bに、モーメント比表記法における平均粒子径および標準偏差の計算例を記載した。
- ・附属書Cに、モーメント比表記法における粒子径分布に関する種々パラメータの正確さに及ぼす測定条件および分布の状態の影響を追加した。

#### 1-3 審議中に問題となった事項

- ・JIS Z 8819-2:2001 のタイトルにある“または平均粒子直径”を削除した。
- ・"type of quantity of a distribution"に対する用語として、JIS Z 8819-2:2001 では“測定基準”としていた。一方、JIS Z 8890 では“測定次元”としており、どの用語を用いるか議論された。この規格では JIS Z 8819-2 の表記を踏襲することとして、注記として JIS Z 8890 の用語を加筆した。
- ・JIS Z 8819-1 では分布密度を“頻度”と記載しているが、頻度は個数基準の分布に対する用語であり、体積、質量などを基準とした分布に対しては統計学的に不適切であるとの指摘があった。統計学的に適切な表現が妥当であるため、“測定基準 r の相対粒子量分布密度”と訂正した。注記に、JIS Z 8819-1 では頻度とも呼んでいる旨を記載した。
- ・この規格で定義される算術平均粒子径は、個数基準の分布から求められる。個別の平均粒子径については、JIS Z 8819-2:2001 では“個数基準算術平均面積径”，“個数基準算術平均面積径”と記載されていたが、“個数基準”は、算術平均と同義であるので削除しては、との意見があった。しかし、多くの分野で当該用語が使用されていることから、今回の改正では従来の用語を踏襲した。
- ・JIS Z 8819-2:2001 では、個別の重み付き平均粒子径を“重み付き\*\*基準平均径”としているが、\*\*基準分布による粒子径の平均であるので、“重み付き”は不要ではないかとの意見があった。しかし、多くの分野で当該用語が使用されていることから、今回の改正では従来の用語を踏襲した。
- ・ISO 規格で使用されている“accuracy”は、本来の“accuracy 精確さ”ではないので、この規格では適宜、適切な用語、“計算精度 (相対誤差)”または“正確さ”として表記した。ISO 規格の定期見直しの際に、適切な用語に変更すること求める。
- ・表面積基準および面積基準の分布の測定基準は  $r=2$  であり、異なる用語で表記することは混乱を招くので、この規格では基本的に両者を“面積基準”に統一した。
- ・この規格に記載されている比表面積は、粒子単位体積当たりの表面積であり、粉体工学では“体積基準の比表面積”と呼ばれている。この規格では“体積基準”粒子径分布を取り扱うため、“体積基準の比表面積”とすると誤解を生じるので、“比表面積 (粒子実体積当たりの表面積)”と記載した。

#### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.5.8	種苗会館6階会議室	14	1. JIS 原案作成概要説明 2. 原案作成方針について審議 3. 今後のスケジュールの確認
2	2018.7.24	種苗会館6階会議室	15	1. JIS 原案 ver. 1 に対する審議 2. JIS 原案 ver. 2 作成方針の確認 3. JIS 原案審議スケジュールの確認

#### (小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.5.8	種苗会館6階会議室	9	1. JIS 原案作成概要説明 2. 原案作成方針について審議 3. 作業分担の確認 4. 今後のスケジュールの確認
2	2018.7.2	種苗会館6階会議室	8	1. JIS 原案 ver. 1 に対する修正事項の確認

#### 6.10.4-2 平成30年度 JIS 原案作成委員会(2) (綾信博委員長)

ISO 19430:2016 Particle size analysis -- Particle tracking analysis (PTA) method (粒子軌跡解析法) の JIS 化

##### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

粒子軌跡解析法による粒子径解析について規定した ISO 19430:2016 Particle size analysis -- Particle tracking analysis (PTA) method に対応する JIS 原案を作成する。

この方法は、比較的新しく製品化された方法であるが、液体中のナノ粒子、ファインバブル、ライフサイエンスなどの分野において、国内でも、国産製品、海外製品含めて、急速に利用者が拡大している方法であり、特にファインバブル分野においては認証等でも利用される見込みである。現在は、測定法の呼称を含め、国内では用語なども統一されていない現状であり、国際規格に対応する国内規格を制定する必要がある。

規格を制定することにより、また、測定法の呼称を含めた用語の統一により、市場の混乱が防げるだけでなく、測定結果の表示条件などが統一されることで、本規格に準拠する粒子測定器製品、その測定器を開発・製造に用いる製品・サービス、評価サービスの開発・実用が容易になり、かつ、取引の円滑化も期待される。さらに、測定原理と測定可能範囲について正しい認知が定着することにより、市場の拡大が期待される。

2018年9月、日本規格協会によるヒアリングが実施され、採択決定となった。

2018年12月より原案作成作業が開始された。委員会活動は2019年1月から2019年11月まで行われ、原案を作成する予定である。

## 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.2.28	種苗会館 6階会議室	13	基本的な策定方針(策定する規格の位置づけやISO規格等他の規格との関係について、特定利害関係者からの意見聴取方法、解説に記述すべき事項等)について。今後の具体的な作業(小委員会の役割、策定作業スケジュール)

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.3.13	協会東京事務所	6	和文名称について。具体的作業分担前半部分について第1次案策定(特定利害関係者からの意見の検討を含む)

2019年10月に原案を日本規格協会へ提出する見込みである。

### 6.11 粉じん爆発委員会 (土橋律委員長、山隈瑞樹、太田潔各副委員長)

#### 1. 2018(平成30)年度の事業実績概要

##### 1-1 粉じん爆発・火災安全研修

1)粉じん爆発・火災安全研修【初級／基礎編】(毎年秋、関東関西交互に開催)の開催

平成30年度、関西にて9月20-21日(木、金)に、大阪産業技術研究所更で開催。参加者48名

2)粉じん爆発・火災安全研修【中級／技術編】(2年ごとの春に関東で開催)の開催予定

平成30年度は、東京 清瀬市 労働安全衛生総合研究所にて、2月21-22日(木、金)で開催。参加者51名

##### 1-2 研修テキストの改訂

1)背景:前回発刊から10年経過し、講師の交代が進みテキスト著者との相違が大きくなっている。法令・規格変更、リスク評価などの新たな情報を盛り込む必要が出ている。

これまでの出版本は、

・「粉じん爆発・火災対策」(2006年10月、オーム社)

・「実務者のための粉じん爆発・火災対策」(2009年9月、オーム社)

2)名称:粉じん爆発・粉体火災の安全対策 —基礎から実務まで—

3)編集委員:土橋委員長、榎本委員、山隈委員、太田委員

4)本の仕様:約500ページ(2冊を1冊に合本)

5)現状:原稿の収集が終了し、執筆者校正中。

6)発刊予定:H31.4月頃。

##### 1-3 行事などへの対応

国際粉体工業展東京2018における「粉じん爆発情報セミナー」の企画

H30.11.28 10:00~12:45 222名参加。

1)主催者挨拶、トピックス紹介:土橋 律委員長

2)国際動向・技術情報:「粉じん爆発安全管理のアジア諸国の動向」

BS&B Safety Systems Felipe Ong 氏 (通訳付き)

3)規制・国際動向:「欧州ATEX指令とEN規格の背景と動向—日本における爆発防護の現在」

ATEX 爆発防護株式会社 銚田 泰威 氏

また、展示会場にて、粉じん爆発動画を上映した。

## 2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.13	産業安全技術協会	26	1.産安協見学 2. H29 第3回委員会議事録確認 3.平成30年度粉じん爆発火災安全研修【初級】(基礎編) 準備

				4.国際粉工展東京 2018「粉じん爆発情報セミナー」準備確認 5.テキスト改訂進捗確認
2	2018.12.18	東京/種苗会館 6階会議室	23	1.H30 第1回委員会議事録確認 2.平成30年度 粉じん爆発火災安全研修【初級】(基礎編)実施報告、アンケート結果報告、質問対応結果。 4.粉工展東京 2018「粉じん爆発情報セミナー」実施の振り返り 5.研修テキスト改訂進捗 6.平成31年度事業計画書(案)
3	2019.3.4	東京/種苗会館 6階会議室	27	1.第2回粉じん爆発委員会議事録確認。 2.委員会・部門連絡会報告(1/26 実施) 3.2019年度の委員会活動 4.平成30年度 粉じん爆発火災安全研修【中級】2/21,22 5.平成31年度 粉じん爆発火災安全研修【初級】9/9,10 6.研修テキスト製作 7.大阪粉工展 粉じん爆発セミナー骨子 その他

(研修テキスト改訂編集委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.6.13	産業安全技術協会	6	1.作業日程確認、 2.査読担当確認 3.修正中の原稿管理。
2	2018.8.10	東京/種苗会館 5階会議室	6	1.原稿収集・修正状況の確認、 2.執筆者印税計算方法、 3.原稿完成までの日程管理
3	2018.12.15	東京/種苗会館 5階会議室	6	1.査読の進捗確認 2.目次、索引、図表の確認

## 7. 分科会

### 7.1 粉体ハンドリング分科会

登録会員数 328 人

(松坂修二コーディネータ、河府賢治副コーディネータ、村上徹代表幹事[アイシン産業㈱]、海老原裕之副代表幹事[日清エンジニアリング㈱])

2018(平成30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.5	東京/日本大学 工学部 駿河台校舎	44	「粉体ハンドリングとIoT、ICT (Information and Communication Technology)」をテーマに技術講演、製品紹介、懇親会
2	2018.9.6	兵庫/東洋ハイテック ㈱ 粉体技術センター	42	「乾式粉砕」をテーマに技術講演、施設見学、懇親会
3	2018.12.12	東京/日本大学 工学部 駿河台校舎	48	「粉体プロセスの計測」をテーマに技術講演、製品紹介、懇親会
4	2019.3.6	東京/日本大学 工学部 駿河台校舎	51	「振動を利用した多彩な粉体ハンドリング技術」をテーマに技術講演、製品紹介、懇親会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.5	東京/咲くら 御茶ノ水店	13	第1回分科会反省/第2回次回分科会企画/書籍「粉粒体ハンドリング技術」販売/専門講座企画/2019年以降の粉体エンジニア早期養成講座計画/その他

2	2018.9.5,9.6	兵庫/こおちや、東洋ハイテック(株)粉体技術センター	11	第3回分科会企画/粉体工学単位操作研究会との今後の連携/専門講座準備(9/18)/専門講座企画(2/19)/2019年度粉体エンジニア早期養成講座企画/粉体ハンドリング技術書籍、販売状況と販促/粉体技術誌特集記事
3	2018.12.12	東京/鍛冶屋文蔵 駿河台店	12	粉体エンジニア早期養成講座粉体ハンドリング I 開催企画/第4回分科会企画
4	2019.3.6	東京/八吉御茶ノ水店	11	2019年度第1回から第3回分科会開催企画

(専門講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
67	2018.9.18	東京/日本大学 工学部 駿河台キャンパス	46	粉体物性と粉体操作への応用/粉体貯蔵(貯槽)の基礎からトラブル対策まで/粉粒体プロセスの計測と制御/粉体プロセス組み立ての実務における留意点
69	2019.2.19	東京/日本大学 工学部 駿河台キャンパス	45	粉粒体の供給機とその選定法/機械式輸送装置とその選定法/空気輸送システムの設計方法とトラブル対策/粉粒体の充填・包装

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

## 7.2 粉砕分科会

登録会員数 256 人

(内藤牧男コーディネータ、加納純也副コーディネータ、神谷昌岳代表幹事[㈱アイテック]、石井利博副代表幹事[アシザワ・ファインテック(株)])

2018(平成30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.12 ～7.13	講演会:倉敷ロイヤルアートホテル 見学会: JFE スチール西日本製鉄所	23 (82)	(集じん、粉体シミュレーション技術利用分科会と合同)「石炭・廃棄物高度利用プロセスにおける粉砕・集じん技術開発とシミュレーション技術の活用」をテーマとした講演会
2	2019.2.5	東京/デンカ(株)デンカイノベーションセンター	55	「粉体の高機能化・高付加価値化の現場を学ぶ」をテーマに見学会および講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.13	岡山/倉敷ロイヤルアートホテル	10	第1回分科会反省、会計報告、幹事補充の件、粉体エンジニア早期養成講座、次回分科会企画、その他
2	2018.10.11	埼玉/日清エンジニアリング(株)	4	粉体エンジニア早期養成講座、次回分科会企画
3	2018.12.7	APPIE 東京事務所	4	本年度活動評価、第2回分科会、次年度事業討議
4	2019.1.25	名鉄ニューグランドホテル	4	次期事業計画推進策討議
5	2019.2.5	東京/デンカ(株)イノベーションセンター	12	次年度事業企画打ち合わせ

(専門講座) 開催予定なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	受講者	講座概要
1	2018.10.11 ～10.12	埼玉/日清エンジニアリング(株) 粉体事業部	16	粉砕とは?/粉砕装置の特徴、粉砕プロセスの理解/粉砕プロセス解析のための DEM シミュレーション/粗砕、中砕、微粉砕機による粉砕実験/粉砕におけるトラブル対策/粉砕技術の応用と今後の展開/講義と実験の整理と発表

## 7.3 分級ふるい分け分科会

登録会員数 113 人

(吉田英人コーディネータ、所 千晴副コーディネータ、秋山聡代表幹事[日清エンジニアリング(株)]、佐藤一彦副代表幹事[晃栄産業(株)])

2018(平成30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.20	愛知/株葵製茶 本店	21	抹茶製造工場の見学とお茶の基礎と機能性に関する講演 および粉末茶製造に関連した機器の紹介講演
2	2018.10.26	茨城/AGC(株)鹿島工場	15	板ガラスと重曹粉末の製造工場の見学と分離技術および ふるい網等の付着防止技術の紹介講演
3	2018.12.14	大阪/マイクロトラック・ベ ル(株) 大阪本社	13 (31)	(食品粉体技術分科会と合同) 粉体測定器メーカーの見学と食品粉粒体の評価と分離技 術の講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.20	愛知/四六時中ヴェルサ ウォーク西尾店	8	分科会計画、東京粉工展企画、粉体エンジニア早期養成 講座「分級」
2	2018.10.26	茨城/鹿島セントラルホテ ル	6	分科会計画、東京粉工展企画、粉体エンジニア早期養成 講座「分級」、今後の運営体制
3	2018.12.14	大阪/ハイアットリー ジェンシー大阪	8	来年度の事業計画と今後の運営体制

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

#### 7.4 乾燥分科会

登録会員数 95 人

(田門肇コーディネータ、立元雄治副コーディネータ、諏訪聡代表幹事[月島機械(株)]、飯田晃弘副代表幹事[株大川原製作所])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.29	山形/株キヨスミ産研	23	(集じん分科会と合同) 最新鋭の産業廃棄物焼却溶融設備である「エコモンスター」 の見学会と講演会
2	2018.11.22	東京/ホテル機山館	35	IDS(国際乾燥シンポジウム)における乾燥技術の動向と、 IoT、AIを活用した予防保全、自動化をテーマとした講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.29	山形/平田牧場 メトロ ポリタン山形店	9	次回分科会企画、粉体エンジニア早期養成講座、来年度の 分科会運営
2	2018.11.22	東京/ホテル機山館	8	今年度分科会行事のまとめ、次回分科会企画、来年度の分 科会テーマ

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
	2018.9.13 ~9.14	千葉/月島機械(株)市川 工場	10	1) 乾燥操作の意義、乾燥についての基礎知識 2) 乾燥用ガス・湿り空気の性質、最近の研究・技術動向 3) 乾燥装置の選定法、乾燥装置の基本設計 4) 乾燥プロセスにおける省エネ対策とトラブル対策 5) 安全、健康、環境に関する事項、その他 6) 乾燥実習と乾燥実験室見学



## 7.5 集じん分科会

登録会員数 258 人

(牧野尚夫コーディネータ、福井国博副コーディネータ、近藤茂雄代表幹事[日本スピンドル製造㈱]、杉野隆副代表幹事[アマノ㈱])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

2018 年度は、例年通り 4 回の分科会(うち二回は合同分科会)を開催し、三回の幹事会および粉体エンジニア早期養成講座－集じん－を開催した。いずれの行事も期待以上の参加者を集め、活気のある会議となった。

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.29	山形/㈱キヨスミ産研	23 (37)	(乾燥分科会と合同) 最新鋭の産業廃棄物焼却熔融設備である「エコモンスター」の見学会と講演会
2	2018.7.12 ～7.13	講演会:倉敷ロイヤル アートホテル 見学会:岡山エコタウン	37 (82)	(粉砕分科会、粉体シミュレーション技術利用分科会と合同) 「石炭・廃棄物高度利用プロセスにおける粉砕・集じん技術開発とシミュレーション技術の活用」をテーマとした講演会
3	2018.11.12	京都/メルパルク京都	60	ろ布性能の劣化や小型集塵装置の性能評価試験法の最新動向を集めた講演会
4	2019.2.27	神奈川/横浜市環境 創造局北部汚泥資源 化センター	48	石炭代替燃料としての資源化を行う下水汚泥焼却施設の見学および汚泥焼却用集塵機のフィルターに関する講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.13	岡山/倉敷ステーション ホテル	16	ナノ粒子利用技術委員会への参加と承認 分科会開催の当番持ち回り制の説明と承認 第 3 回分科会企画の説明
2	2018.11.12	京都/メルパルク京都	19	分科会 150 回記念会合に関する説明 第 4 回分科会企画の説明 粉体エンジニア早期養成講座の開催に関する説明
3	2019.2.27	神奈川/福盈門鶴見 本店	17	次年度予算および事業計画の説明 分科会 150 回記念会合の開催内容の説明

(専門講座)

なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
	2018.12.4 ～12.5	静岡/アクトシティ浜 松、アマノ㈱細江事業 所	11	集じんの必要性と粒子分離の原則・評価法、各種集じん装置の概要と性能、ろ過集じん装置の特性と設計法、電気集じん装置の特性と使用法、局所排気装置の設計法、集じん装置の性能測定およびフード制御風速測定

## 7.6 混合・成形分科会

登録会員数 87 人

(鈴木道隆コーディネータ、藤正督副コーディネータ、藤井淳代表幹事[㈱栗本鐵工所]、菅原一博副代表幹事[菅原精機㈱])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

粉体混合・成形がキープロセスであるセラミックスの成形技術や製薬・製剤技術など、これまではユーザにおける粉体プロセスに焦点をあてたが、今年度は粉体機器メーカーにおける最新技術と技術動向をテーマとし活動(見学会、講演会)を行っている。

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.9.3	神奈川/㈱徳寿工作所	11	粉粒体関連機器の製造工場見学 「混合機、ふるい機など作り続けて 94 年、老舗メーカーのノウハウと製造現場を見学」

2	2019.2.15	大阪/三庄インダストリー(株)	21	プレス成形と金型技術をテーマに、両軸プレスや静水等方圧プレス(CIP)など小型成形機のテスト工場を見学
---	-----------	-----------------	----	---

(幹事会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.10.25	菅原精機(株)	10	分科会行事、粉工展、粉体エンジニア早期養成講座および分科会ロードマップの見直し

(専門講座)

開催予定なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
7	2018.12.13 ~12.14	大阪/(株)ダルトン	7	混合の基礎、各種装置の分類、スケールアップ、混合の評価など、装置各論、実験実習(混合機、混練機)、混練の基礎

## 7.7 造粒分科会

登録会員数 378 人

(村瀬和典コーディネータ、武井孝副コーディネータ、桑原敏之代表幹事[(株)ダルトン]、岩松英敏副代表幹事[(株)奈良機械製作所])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.11.6	静岡/大川原化工機(株)粉体技術研究所	37	噴霧造粒/噴霧乾燥機の大型研究機の見学会と講演会
2	2019.3.8	東京/中央大学 後楽園キャンパス	56	(技術討論会) PAT,インライン計測およびこれらに関わる造粒システム測定装置に関する講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.4.11	東京/中央大学 後楽園キャンパス 村瀬研究所	6	次回分科会企画
2	2018.6.8	東京/中央大学 後楽園キャンパス 村瀬研究所	6	技術討論会、施設見学会
3	2018.9.6	東京/中央大学後楽園キャンパス 講義室	16	新幹事紹介、施設見学会企画説明および役割担当決定
4	2018.12.7	東京/ダルトン	13	来年度運営計画、幹事会企画検討

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

## 7.8 計装測定分科会

登録会員数 102 人

(森康維コーディネータ、後藤邦彰副コーディネータ、鷺尾一裕代表幹事[(株)島津製作所]、阿川直樹副代表幹事[(株)セイシン企業]、池田英幸副代表幹事[スペクトリス(株)])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.12.12	広島/(株)サタケ広島本社	16	設備見学と関連技術に関する講演
2	2019.2.1	東京/同志社大学 東京オフィス	33	第 38 回計装測定講演会、テーマは“粒子特性評価の最前線”

(幹事会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.9.5	GRILL MEAT FACTORY	4	第 1 回分科会計画、粉体 E 早期養成講座振り返り他

2	2018.11.28	がぜん有明店	8	講演会のテーマ選定、基調講演検討、見学会まとめ
3	2018.12.12	さかなや道場(広島)	9	見学会振り返り、計装測定講演会の計画まとめ他
4	2019.2.1	かなえ京橋店	9	計装測定講演会反省、次年度取り組み他

(専門講座)

開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
2	2018.8.21 ～8.22	東京/㈱堀場製作所 東京セールスオフィス	8	(講義)特性・静特性、測定における数理統計の基礎、粒子径測定についての基礎と各論、粉体特性評価法、粉体プロセスでの粉体の流動性と流量・レベル計測方法についてなど。 (実習)レーザ回折散乱法による粒子径分布測定、動的散乱法による粒子径分布測定等の実習、両者の違いや使い分け、それぞれの前処理方法やアプリケーションの紹介など。

## 7.9 湿式プロセス分科会

登録会員数 84 人

(岩田政司コーディネータ、菰田悦之副コーディネータ、石川 敏代表幹事[関西金網㈱])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2019.3.19	神奈川/味の素㈱	24 (38)	(晶析分科会と合同) 1) 食品工場の見学 2) 固液分離に関する最新の研究動向 3) ろ過・乾燥機のユーザからの報告 4) 設備メーカーによる新技術・新製品の紹介

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2019.1.31	大阪/関西金網㈱	8	次回分科会に関して
2	2019.3.19	神奈川/味の素㈱	6	次回分科会に関して

(専門講座)

開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2019.1.31 ～2.1	大阪/関西金網㈱	9	(目的)プラント設計、保全、生産に携わるエンジニアを対象に、ろ過に関する実践的な知識を習得し、改善活動や問題解決に役立てることを目指す。 (内容) ろ過の基礎理論、ろ過装置・ろ材の特徴と選定法、膜ろ過、スラリーの粘度と圧損解析に関する講義。 フィルタープレスを用いて複数の条件での定圧ろ過実験、および実験結果の解析と考察。

## 7.10 輸送分科会

登録会員数 145 人

(田中敏嗣コーディネータ、武居昌宏副コーディネータ、井上照男代表幹事[ツカサ工業㈱]、岸本武志副代表幹事[三興空気装置㈱]、松井哲也副代表幹事[アマノ㈱]、以下 4 名の幹事)

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.22	茨城/産業技術総合研究所 つくばセンター、エステック㈱	22	産業技術総合研究所「サイエンススクエア」および「CLC プロジェクト実験設備」の見学とエステック㈱のケース式チェーンコンベヤの生産工程の見学

2	2018.9.19	愛知/㈱スギヤス	23	工場および物流機器や住宅福祉機器の見学と粉体の空気輸送に欠かせない特殊サイクロンについての講演
3	2019.3.5	福岡/日清製粉㈱福岡工場	34	工場見学および「機械的振動場を利用する微粉体ハンドリング」の講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.22	茨城/一成 つくば店	7	幹事交代、次回分科会企画、粉工展企画
2	2018.9.19	名古屋/㈱椿本バルクシステム名古屋営業所	8	粉工展企画、次回分科会企画、分科会功労賞、その他
3	2018.11.28	ほおずきや	8	粉工展報告、次回分科会企画、分科会功労賞、代表幹事、次回専門講座、その他
4	2019.1.25	名古屋/㈱椿本バルクシステム名古屋営業所	7	次回分科会企画、次回専門講座、その他
5	2019.3.5	夢花げんき堂	9	平成 31 年度第 1 回分科会、次回分科会企画、次回幹事会、早期養成講座、その他

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 粉体ハンドリングと共同開催に向けて動く予定

### 7.11 クリーン化分科会

登録会員数 151 人

(大谷吉生コーディネータ、鍵直樹副コーディネータ、林 敏昭代表幹事[東洋紡㈱]、松田朋信副代表幹事[リオン㈱])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.8.31	大阪/ダイキン工業㈱	37	テクノロジー・ノベーションセンター(TIC)の施設見学と講演会
2	2019.1.23	神奈川/三機工業㈱テクノセンター(R&D センター)	24	三機テクノセンターの見学と講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.5.25	東京/跳魚別館	7	新加入幹事の紹介、分科会企画
2	2018.8.31	京都/先斗町富美家	9	第 1 回分科会反省、次回分科会企画、分科会功労賞
3	2019.1.23	神奈川/九つ井	12	第 2 回分科会反省、次年度活動計画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

### 7.12 環境エネルギー・流動化分科会

登録会員数 47 人

(幡野博之コーディネータ、成瀬一郎副コーディネータ、高田真木代表幹事[月島機械㈱]、高島久継副代表幹事[㈱奈良機械製作所])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.8	山梨/甲府・峡東クリーンセンター	24	流動層ガス化溶融炉 施設見学会
2	2018.9.7	東京/中央大学 後楽園キャンパス	66	木質バイオマス関連について今後の動向と展望についての講演会

3	2018.11.15 ～16	宮崎/大生黒潮発電所(木質バイオマス発電) 鹿児島/大霧地熱発電所(地熱発電)、その他	22	南九州地区の各種再生可能エネルギー施設の見学会
---	-------------------	--	----	-------------------------

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2019.1.11	東京都品川	8	2019年度体制と分科会開催計画

(専門講座)

開催なし(専門講座開催に必要な要件を満たす見込みがないため)

(粉体エンジニア早期養成講座)

開催なし(本講座開始より以前から同内容の講座を幡野コーディネータが毎年開催しているため)

### 7.13 晶析分科会

登録会員数 152 人

(白川善幸コーディネータ、松本真和副コーディネータ、津崎裕也代表幹事[月島機械(株)]、大森一成副代表幹事[味の素(株)])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.12	フランクフルト/ACHEMA	20	・国際フォーラム(晶析技術セッション) ・Merck 社サイトツアー
2	2018.3.19	味の素(株)	14 (38)	(湿式プロセス分科会と合同) ・味の素(株)川崎工場見学と講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.8.30	東京/月島機械(株)本社	7	ACHEMA 報告/拡大分科会運営委員会報告/専門講座企画/その他
2	2018.9.19	東京/月島機械(株)本社	6	専門講座企画/第 2 回分科会企画/今後の作業とスケジュール確認
3	2018.10.17	東京/東郷 3 丁目区民センター	3	専門講座企画
4	2018.11.21	東京/有楽町会議室	3	専門講座企画/会計処理
5	2018.11.29	東京/月島機械(株)本社	6	専門講座企画/第 2 回分科会企画/その他
6	2018.12.20	ノリタケカンパニーリミテド	6	専門講座企画/第 2 回分科会企画/その他
7	2019.1.31	東京/同志社大学東京オフィス近郊	6	人事(新任副コーディネータ就任)/今年度活動報告
8	2019.3.19	神奈川/川崎駅近郊	5	2019 年第 1 回分科会企画

(その他)

回	日程	場所	人数	講座概要
-	2018.10.11	東京/同志社サテライトオフィス	30	・ACHEMA における IPNF 活動報告会

(専門講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
68	2018.1.30 ～1.31	東京/同志社サテライトオフィス	24	基礎から学ぶ「実用・晶析技術」

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

### 7.14 微粒子ナノテクノロジー分科会

登録会員数 243 人

(神谷秀博コーディネータ、宮原稔副コーディネータ、福井武久代表幹事[株栗本鐵工所]、鳥居経芳副代表幹事[スペクトリス(株)])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.11 ～6.17	ドイツ/フランクフルトメッセ (ACHEMA, IPNF) BAM, ポツ ダム大学	13	・International Powder and Nanotechnology Forum (IPNF) ナノテクセッション ・BAM でのセミナー ・ポツダム大学でのミニシンポジウムおよび見学会
2	2018.11.14	福岡/TOTO(株)	20 (35)	(粒子積層技術分科会と合同) 「ナノ粒子の塗布・積層技術」をテーマとした TOTO (株)での見学と講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.4.16	スペクトリス(株)会議室	11	2018 年度の活動計画検討、第 1 回分科会 (ACHEMA、IPNF) の企画進捗報告
2	2018.11.14	高田屋小倉エキナカ店	10	第 2 回分科会の内容確認および役割分担
3	2019.3.19	栗本鐵工所本社会議室	10	2018 年度の総括と 2019 年度活動計画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

### 7.15 電池製造技術分科会

登録会員数 400 人

(境哲男コーディネータ、堤敦司副コーディネータ、秋元祐代表幹事[赤武エンジニアリング(株)

佐藤高公副代表幹事[(株)セイシン企業]、堀越勝副代表幹事[(株)パウレック])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.5.17	東京/東京大学	184	次世代車載用電池として開発が進められている全固体電池の現 状と課題、先端電池材料の開発状況、ガラスセラミック系固体電 解質の開発状況、オープンイノベーションによる次世代大容量・高 性能電池の開発などをテーマにした講演会
2	2018.10.25 -10.26	山梨/甲府富士 屋ホテル、ゆめゾ ーラー館やまな し	101	超急速充放電が可能な産業用蓄電池の開発、資源的な制約が 少ないマンガン系電池材料の開発状況、次世代車載用電池とし て開発が進められている全固体電池の評価技術の構築、車載用 や家庭用として実用化が進んでいる固体高分子形燃料電池の開 発状況などをテーマにした講演会と施設見学会
3	2019.2.14	名古屋/TKP名 古屋駅前カンフ ァレンスセンター 一、ノリタケの森	139	電気自動車の高性能化と電池、宇宙開発と蓄電池、高エネルギ ー密度電池のための新バインダーの開発、正極材料の高容量化 などをテーマとした講演会と見学会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.5.17	東京/東京大学 生産技術 研究所	12	次回第 2 回、第 3 回分科会について
2	2018.10.25	山梨/甲府富士屋ホテル	12	次回分科会、来年度第 1 回分科会について
3	2019.2.14	名古屋/TKP名古屋駅前 カンファレンスセンター	12	次回分科会、来年度第 2 回分科会について

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

### 7.16 リサイクル技術分科会

登録会員数 280 人

(大矢仁史コーディネータ、外川健一副コーディネータ、齊藤陽代表幹事[(株)タナベ]、増井芽副代表幹事[(株)アクトリー])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.3	茨城/(国研)国立環境研究所,ホテルグランド東雲	22	「資源循環・廃棄物研究センター」の見学と「拡大生産者責任とリサイクル法～廃棄物政策と循環経済の動向をふまえて～」 「電気電子機器に関する国内・国際リサイクル」と題した講演会
2	2018.10.16	福岡/三菱マテリアル(株)九州工場,丸屋商事(株)	26	「各種廃棄物のリサイクルに取り組むセメント産業の現状」をテーマとした講演会および「セメント製造とその廃棄物利用の現状」と題した講演会
3	2019.3.7	千葉/グリーンサイクルシステムズ	20	「家電製品から家電製品への自己循環リサイクル(プラスチックリサイクル率70%)」をテーマとした家電リサイクル工場の見学会および講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.3	茨城/楼外楼	7	次回分科会について その他
2	2018.10.16	福岡/TKP 小倉駅前カンファレンスセンター	8	次回分科会について 特別幹事会について/その他
3	2018.12.18	兵庫/かんぼの宿	8	第3回分科会企画について 来年度活動計画/その他
4	2019.3.7	千葉/アロハテーブルペリエ千葉店	7	次回分科会について その他

(専門講座)

開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

開催なし

## 7.17 食品粉体技術分科会

登録会員数 226 人

(羽倉義雄コーディネータ、五月女格副コーディネータ、野村光生代表幹事[㈱日清製粉グループ本社]、川島哲文副代表幹事[㈱竹中工務店])

2018(平成30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.28	静岡/㈱静岡プラント	33	「単位操作技術:粉体ハンドリング」をテーマに、(株)静岡プラントにて小型汎用集じん機製造ラインおよび集じんの要素技術を展示した環境テクノロジーセンターの見学会と講演
2	2018.12.14	大阪/マイクロトラック・ベル(株)大阪本社	18 (31)	(分級ふるい分け分科会と合同) 「粒度調整・測定技術」をテーマに、マイクロトラック・ベル(株)大阪本社の施設見学と「食品粉粒体の最新計測技術」関連の講演
3	2019.3.6	埼玉/日清エンジニアリング(株)粉体事業部	15 (49)	(粉体シミュレーション技術利用分科会と合同) 「粉体シミュレーション技術利用」をテーマに、日清エンジニアリング(株)粉体事業部の施設見学と「粉体シミュレーション技術」関連の講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.28	静岡/静岡市駿河区	11	第1回分科会の振り返り/幹事交代/2018年度分科会開催計画/2019年度分科会開催計画
2	2018.12.14	大阪/大阪市西区	9	第2回分科会の振り返り/新任幹事候補/2018年度分科会開催計画/2019年度分科会開催計画
3	2019.3.6	埼玉/ふじみ野市	13	第3回分科会の振り返り/2019年度分科会開催計画他

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

### 7.18 粒子加工技術分科会

登録会員数 107 人

(竹内洋文コーディネータ、岩本清副コーディネータ、浅井直親代表幹事[㈱ダルトン]

伊藤有一副代表幹事[信越化学工業㈱]、島田理史副代表幹事[㈱菊水製作所])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.11 ～6.15	ドイツ/ACHEMA、 Novartis など	36	ACHEMA 視察、Novartis 社見学、IPNF2018、4 分科会合同交流会、粒子加工技術分科会技術交流会
2	2018.7.6	兵庫/沢井製薬㈱ 三田西工場	44	工場見学と最新の研究・技術についての講演の予定であったが、断続的な大雨による影響で午後はやむなく中止となった。
3	2018.9.14	茨城/㈱ツムラ 茨城工場	66	漢方薬の原料となる生薬の保管倉庫、エキス粉末のスプレードライ工程、薬草園、漢方記念館の見学と講演
4	2019.2.22	福井/生晃栄養薬品 ㈱若狭工場	64	生産プロセスの見学と医薬品製剤、関連分野に関する最新動向についての講演

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.5	兵庫/三田ホテル	17	幹事・世話人交代/第 1 回見学講演会報告/次回分科会について/その他
2	2018.9.13	茨城/ホテルアルファ・ザ・土浦	14	幹事・世話人交代について/次回講演会について/その他
3	2018.10.24	滋賀/びわ湖大津プリンス ホテル	18	第 35 回シンポジウム/次回以降分科会について/その他
4	2019.2.21	福井/ホテルせくみや	15	幹事・世話人交代/年間行事予定/次回以降分科会について/その他

(専門講座)

開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
5	2018.11.14 ～11.15	大阪/㈱ダルトン	11	粒子加工概説/粒子加工のための装置/造粒メカニズム/成形メカニズム/機能化のための粒子加工/粒子加工の実際 ガイダンス/実習(造粒、表面改質、物性測定、評価)

### 7.19 粉体シミュレーション技術利用分科会

登録会員数 225 人

(酒井幹夫コーディネータ、石神徹副コーディネータ、角家強志代表幹事[㈱構造計画研究所]、

小澤和三副代表幹事[日清エンジニアリング㈱])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.6.11 -6.1	ドイツ/ACHEMA BASF 社	視察 8 (34)	ACHEMA(独フランクフルト)視察、日独粉体ナノテクフォーラム(IPNF2018)参加及び、企業(BASF)見学、4 分科会合同(微粒子ナノ、粒子加工、晶析)技術交流会
2	2018.7.12 -7.13	岡山/倉敷ロイヤルア ートホテル、JFE スチ ール西日本製鉄所	22 (82)	国際学会 ICCCI と併設、粉砕、集じん分科会と合同開催「石炭・廃棄物高度利用プロセスにおける粉砕・集じん技術開発とシミュレーション技術の活用」をテーマとした講演会と、JFE スチール西日本製鉄所の見学
3	2019.3.6	埼玉/日清エンジニア リング㈱	32	食品粉体技術分科会との合同開催。講演および見学：日清エンジニアリング㈱ 粉体事業部



(その他)

回	日程	場所	人数	テーマ
-	2018.11.29	東京/東京ビッグサイト	261	国際粉体工業展東京 2018 の会場内で、特別講演「粉体シミュレーションの最前線」、および特別展示ゾーン出展社プレゼンテーション(8社)を実施

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.7.12	岡山/倉敷ロイヤルアートホテル	12	今年度の役割分担について/第1回分科会報告/第53回技術討論会確認/動画作成について/その他
2	2018.9.3	東京/東京大学生産技術研究所	19	第2回分科会報告/拡大分科会運営委員会報告/国際粉体工業展準備状況/その他
3	2018.11.29	東京/ベイ有明ワシントンホテル	18	第53回技術討論会開催報告/上期収支報告/第3回分科会の準備状況報告/その他
4	2019.3.6	日清エンジニアリング	18	第3回分科会総括/次年度分科会実施計画など

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

## 7.20 粒子積層技術分科会

登録会員数 24 人

(山村方人コーディネータ、瀬戸章文副コーディネータ、中尾修也代表幹事[株式会社村田製作所]、

中村圭太郎副代表幹事[株式会社日清製粉グループ本社])

2018(平成 30)年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座

(人数欄の括弧内数字は合同の場合の総数を示す)

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.11.14	福岡/TOTO(株)	15 (35)	(微粒子ナノテクノロジー分科会と合同) 「ナノ粒子の塗布・積層技術」をテーマに TOTO(株)での見学と講演会
2	2019.2.15	奈良/(株)ヒラノテクシード	25	「塗布に関する凝集制御・表面制御」をテーマとした(株)ヒラノテクシードでの見学と講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2018.4.6	京都/協会本部会議室	10	1.コーディネータおよび代表幹事の挨拶 2.出席者の紹介、設立時の分科会体制について 3.分科会の運営について(関連する協会規定、予算管理など) 4.活動内容と今後の進め方について 5.第1回粒子積層技術分科会の企画について 6.その他
2	2018.11.15	福岡/九州工業大学・戸畑キャンパス	8	1. 第2回分科会について 2. 粉体工業展大阪 2019「最新情報フォーラム」について 3. 研究室見学 4. その他
3	2019.2.15	奈良/(株)ヒラノテクシード	9	1. 2019年度分科会の活動内容について 2. 2019年度第1回分科会について 3. その他

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座) 開催なし

## 8. 粉体工業技術センター（山田幸良センター長、石井興一副センター長）

### 8.1 教育部門（牧野尚夫マネジャー、大川原正明・松坂修二各副マネジャー）

2018年度は例年同様、粉体入門セミナーや粉体エンジニア早期養成講座などの様々な講座を下表のように開催し、ほぼ期待通りの参加者を集めた。粉体技術専門講座についても3回を実施した。

部門会議は、中期運営計画に基づき、教育部門の活動内容の確認、粉体入門セミナーの講義内容および講師の見直し、粉体エンジニア早期養成講座や粉体技術専門講座の実施状況の確認などをテーマに12月に開催した。このうち、粉体入門セミナーについては、2019年度の講義内容と講師を決定し、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術専門講座については、2019年度計画の概要をチェックした。なお、粉体エンジニア早期養成講座については、2月開催の実行小委員会にて、2019年度以降の講義内容の詳細を検討した。

#### 1.2018(平成30)年度の事業実績概要

##### 2018(平成30)年度 開催講座

講座名とタイトル		開催日	開催場所	参加者数
粉体入門セミナー(Ⅰ)(第53回)		2018.6.5～6	京都市/メルパルク京都	59
粉体入門セミナー(Ⅱ)(第54回)		2018.6.18～19	京都市/メルパルク京都	中止
粉体入門セミナー(Ⅲ)(第55回)		2018.7.11～12	京都市/メルパルク京都	52
粉体入門セミナー(Ⅱ)(第54回)振替開催		2018.8.29～30	京都市/メルパルク京都	59
粉体エンジニア 早期養成講座	粉体工学基礎論	2018.7.5～6	山口/戸田工業(株) 小野田事業所	14
	計測・測定	2018.8.21～22	東京/(株)堀場製作所	8
	乾燥	2018.9.13～14	千葉/月島機械(株)	10
	粉砕	2018.10.11～12	埼玉/日清エンジニアリング(株)	16
	粒子加工	2018.11.14～15	大阪/(株)ダルトン 大阪イノベーションプラザ	11
	集じん	2018.12.4～5	浜松市/アクトシティ浜松・(株)アマノ細江事業所	11
	混合・混練	2018.12.13～14	大阪/(株)ダルトン 大阪イノベーションプラザ	7
	ろ過	2019.1.31～2.1	大阪市/関西金網(株) 本社	9
第67回粉体技術専門講座 【粉体ハンドリング分科会】(貯槽・プラント)		2018.9.18	東京/日本大学 駿河台キャンパス	46
第68回粉体技術専門講座 【晶析分科会企画】		2019.1.30～31	東京/同志社大学 東京サテライトオフィス	24
第69回粉体技術専門講座 【粉体ハンドリング分科会】(輸送・供給)		2019.2.19	東京/日本大学 駿河台キャンパス	44
粉じん爆発・火災安全研修[初級・基礎編]		2018.9.20～21	大阪/(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター	49
粉じん爆発・火災安全研修[中級・技術編]		2019.2.21～22	東京/労働安全衛生総合研究所	51

#### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.12.13	京都/京都本部	10	1.前回議事録の確認 2.2018年度事業計画 進捗状況の報告 3.2019年度事業計画 起案 4.2019年度 委員体制 5.その他

##### (小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2019.3.11	京都/京都本部	19	1.前回議事録の確認 2.2018年度事業計画 進捗状況の報告 3.2019年度事業計画 起案 4.2019年度 委員体制 4.その他

## 8.2 製造事業部門（石井興一マネジャー）

### 1. 2018(平成 30)年度の事業実績概要

#### 1-1 売上高・支出の推移

	29 年度実績	30 年度予算	30 年度実績
売上(千円)	91,010	95,000	90,786
売上前年度比(%)	94.9	104.4	99.8
事業費(支出、千円)	63,644	67,000	65,617
収支差(千円)	27,366	28,000	25,169

(単位:千円)

#### 1-2 2018(平成 30)年度の重要項目の状況

- 実績:売上 90,786 千円(予算比 95.6%、前年度比 99.8%)、利益(収支差)25,169 千円(予算比 90.0%、前年度比 92.0%)となった。売上減少の要因は、国内売上件数の減少および主要顧客である自動車、電機・電子関連向け売上減少が響いている。但し毎年売上上位顧客は変わっていない。一方海外売上件数は減少しているが売上額は延びている。輸出は、アメリカは順調だが、韓国、中国の伸びが無い。国内と海外の売上比率は、約 86.7%:約 13.3%と本年はわずかだが海外が延ばしている。
- 品種別売上状況:JIS 試験用粉体 1 だけで全体の売上比率約 71.8%(71.4%)、関東ロームだけで約 51.9%(51.6%)、けい砂と関東ロームと合わせて約 65.2%(64.9%)、又 AC ダストを入れると約 79.5%(80.0%)となり前年度とほぼ同じであった(括弧内は 29 年度)。  
認証標準物質(CRM)MBP 検定用粒子は順調に売上を伸ばしている。又海外販売開始するも今のところ引合は無い。  
SAP 試験用粉体、電気・電子試験用砂じんとともに各々 1%以下と相変わらず低調である。毎年のことであるがこの粉体の底上げが課題である。
- 海外販売クレジット決済が 2 件あった。
- 標準粉体委員会:平成 30 年 11 月 9 日および平成 31 年 2 月 21 日開催  
主議題
  - ・島津式沈降天秤の後継機の進捗
  - ・JIS 試験用粉体 1 および SAP 試験用粉体 3 の粒子径分布測定の件他
  - ・SAP14-12「SAP 試験用粉体 3」のラウンドロビン試験の計画
- ホソカワミクロンとの業務効率化会議開催:平成 30 年 6 月 15 日および平成 31 年 2 月 4 日開催  
主議題
  - ・平成 30 年度予算および 30 年度実績予想の件
  - ・試験用粉体などの製造委託に関する契約書の件他
  - ・仕切価格改定および消費税アップの件
- 粉体工業展大阪2019はパネル展示をする。

## 8.3 産学技術交流推進部門（後藤邦彰マネジャー、菅原一博副マネジャー）

### 1.2018(平成 30)年度の事業実績概要

#### 1) 技術相談

2018 年度 申込み数 27 件(うち技術相談に発展 10 件 うち 技術指導へ移行 0 件)

#### 2) APPIE 産学官連携フェア

大阪粉体工業展と併催で、隔年開催のため、2018 年度は開催しなかった。

#### 3) テクノカフェ

講座名	開催日	開催場所	参加者数
第 10 回テクノカフェ	2019.3.19	京都/アランヴェールホテル京都	16

#### 4) 粉体技術セミナー

講座名	開催日	開催場所	参加者数
第 3 回ベストシーズ講演会	2018.10.13	京都/アランヴェールホテル京都	41

参加費:1,000 円(会員)、2,000 円(一般)

講師:日本粉体工業技術協会 奨励賞 技術シーズ賞 受賞者 3 名

(辻 拓也、吉田 幹生、赤松 憲樹 各氏)

### 2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.5.14(月)	京都/ホテルカンラ京都	6	1.前回議事録の確認 2.第 3 回ベストシーズ講演会 3.第 10 回テクノカフェ 4.産学技術交流推進部門委員選出

				5.技術相談のDM
2	2018.10.13(木)	京都/アランヴェールホテル京都	9	1.前回議事録の確認 2.第3回ベストシーズ講演会 3.第10回テクノカフェ 4.テクノカフェの今後 5.APPIE 産学官連携フェア 2017の6ヶ月後アンケートの結果確認 6. APPIE 産学官連携フェア 2019 7.2019年度の事業計画 8.次回会議の予定
3	2019.3.19(木) テクノカフェの開催にあわせ	京都/アランヴェールホテル京都	10	1.前回議事録の確認 2. APPIE 産学官連携フェア 2019について 3.テクノプラザについて 4.その他 5.次回会議の予定

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2018.11.7(水)	京都/京都本部	7	・テクノプラザ ・大阪粉体工業展名刺交換会 ・APPIE 産学官 2019 について

## 9. 技術情報交流懇話会

### 9.1 火曜会(東京)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
282	2018.4.10	(株)大川原製作所	116	東京ガーデンパレス	「経営戦略としての働き方改革とダイバーシティ経営」	株式会社るるキャリア 代表取締役 内田美紀子氏
283	2018.7.10	ニッポンエンジニアリング(株)	96	同上	「食べ方のホント・食の健康術—先人から学ぶ健康の知恵・食品の知恵」	学校法人服部学園 服部栄養専門学校 食品学講師 鈴木章生氏
284	2018.10.2	エステック(株)	101	同上	「東アジアの少子高齢化と家族・社会の変化」	日本大学文理学部 中国語中国文化学科 教授 小浜正子氏
285	2019.1.15	赤武エンジニアリング(株)	133	同上	「心のデザインの物語」	臨濟宗 妙心寺派 龍澤寺 住職 後藤榮山 老大師

### 9.2 水曜会(名古屋)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
59	2018.6.27	新東工業(株)	44	名鉄ニューグランドホテル	「人工骨や人工関節の歴史と将来展望」	名古屋大学 大学院工学研究科 教授 大槻主悦氏
60	2018.10.17	OMC(株)	53	同上	「ロボット技術が支える医療用漢方製剤製造工場」	株式会社ツムラ 生産本部 CMC開発研究所 技術開発部 部長 大石芳明氏
61	2019.2.13	アマノ(株)	52	同上	「人工知能時代をどう生きるか？」	日本科学技術ジャーナリスト会議副会長 大正大学客員教授/東京都市大学特別教授 元NHK解説主幹 室山哲也氏

### 9.3 木曜会(大阪)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
212	2018.5.10	菅原精機(株)	68	ANA クラウンプラザホテル大阪	「働き方改革の本質に迫る！経営者の持つべき”社員の働きがい”のあり方とは」	(株)大塚商会 トータルソリューショングループ TSM支援課 金山広治氏

213	2018.9.6	ハカルプラス(株)	61	同上	「ベンチャー起業とアドベンチャーを経験して～メンタルブロックを壊せ」	(株)エニグモ 代表取締役 最高経営責任者 須田将啓氏
214	2018.12.6	日刊工業新聞社	56	同上	「ゴルフあれこれ」	解説者、プロゴルファー 小田美岐氏
215	2019.2.28	(株)ダルトン	57	同上	「職場におけるセクシュアルハラスメントとパワーハラスメントについて」	弁護士法人 梅ヶ枝中央法律事務所 代表社員弁護士 大森剛氏

#### 9.4 金曜会(福岡)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
58	2018.7.20	(株)村上精機 工作所	27	博多エクセルホテル東急	「伝わるコミュニケーション、伝わる言葉とは？」	株式会社チカラ ライター・エディター 奥永智絵氏
59	2018.11.2	(株)福岡タルク工業所	30	同上	「水中カウンターコリジョン(ACC)法～どんな利点のあるセルロースナノファイバー製造法？」	国立大学法人 九州大学大学院農学研究院 教授 近藤哲男氏
60	2019.2.22	(株)マツシマメジャテック	23	同上	「アンコンシャスバイアスと組織の活性化 無意識の固定観念をコントロールする」	株式会社サイズラーニング 代表取締役 高見真智子氏

### 10. 共催・協賛および後援行事 (H30.4.1～H31.3.31)

#### 10.1 共催 2件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第35回エアロゾル科学・技術研究討論会	H30.7.31～8.2	名古屋/名古屋大学	日本エアロゾル学会
第53回技術討論会	H30.9.3～9.4	東京/東京大学生産技術研究所	(一社)粉体工学会

#### 10.2 協賛 31件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第35回 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	H30.4.24～4.2	東京/早稲田大学国際会議場	(公社)日本空気清浄協会
化学工学会「産学人材育成パートナーシップ事業」	H30.5.10～H31.3月	東京、千葉	(公社)化学工学会
色材セミナー	H30.6.6	大阪/ドーンセンター	(一社)色材協会 関西支部
先端技術を支える単位操作シリーズ「粉粒体プロセスの必須理論とその活用事例」	H30.6.8	大阪/大阪科学技術センター	(公社)化学工学会関西支部
FOOMA JAPAN2018	H30.6.12～6.15	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本食品機械工業会
平成30年度第1回講演会「塗料・塗装工程に見る生産性向上と環境負荷低減」	H30.6.22	東京/日本ペイントホールディングス(株)	日本塗装技術協会
第24回最新科学機器展 第12回計量計測総合展 最新技術セミナー	H30.6.27～6.29	名古屋/名古屋国際会議場	東海科学機器協会 (一社)愛知県計量連合会 フジサンケイ ビジネスアイ
セミナー「製造技術のための3Dプリンティング」	H30.7.3	大阪/パナソニック(株)エコソリューションズ社	(公社)化学工学会 関西支部

[リサイクル・バイオマス・ガス化] 三部会(RGB)シンポジウム	H30.7.4	東京/全国家電会館	(一社)日本エネルギー学会
色材分散講座	H30.7.12	大阪/大阪科学技術センター	(一社)色材協会 関西支部
第36回関西界面科学セミナー 「ソフトコロイドの界面構造および 機能制御-基礎から応用まで」	H30.7.14	大阪/関西大学 千里山キャンパス	(公社)日本化学会コロイドお よび界面化学部会関西支部
第16回技術講演会	H30.7.18 ~7.19	京都/京都国際会館	新製剤技術とエンジニアリ ングを考える会
スマートエンジニアリング TOKYO2018	H30.7.18 ~7.20	東京/東京ビッグサイト	(公社)化学工学会 (一社)日本能率協会
平成30年度アンコール大阪講 演会	H30.7.27	大阪/エル・おおさか	日本塗装技術協会
第51回塗料基礎講座	H30.8.22 ~8.23	大阪/大阪科学技術センター	(一社)色材協会 関西支部
粒子・流体プロセス技術コース 2018	H30.8.30 ~8.31	東京/中央大学後楽園キャンパス	(公社)化学工学会粒子・流 体プロセス部会流動層分科 会
第60回顔料入門講座	H30.8.30 ~8.31 H30.9.6 ~9.7	千葉/千葉工業大学 津田沼校舎	(一社)色材協会
第9回塗装入門講座	H30.9.6 ~9.7	東京/日本ペイントホールディング ス(株)	日本塗装技術協会
INTERMEASURE2018	H30.9.26 ~9.28	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本計量機器工業連 合会
第2回講演会「微粒子・粉体 の塗装技術最先端を学んで次 世代の展開を考えよう！」	H30.10.5	東京/日本ペイントホールディング ス(株)	日本塗装技術協会
粉体の機械的単位操作に関す る参加型講演会	H30.10.18 ~10.19	千葉/新日鐵住金(株)	(一社)粉体工学会
第43回顔料物性講座	H30.11.13	東京/東京塗料会館	(一社)色材協会
色材講演会	H30.11.22	大阪/ドーンセンター	(一社)色材協会 関西支部
第24回流動化・粒子プロセッ シングシンポジウム	H30.12.5 ~12.7	東京/八王子学園都市センター	(公社)化学工学会 粒子流 体プロセス部会 流動層分科 会
安全技術講習会	H30.12.6 H30.12.17	大阪/エル・おおさか 東京/日本ボイラ協会	(公社)産業安全技術協会
Short Course 「精密塗布乾 燥」	2019.1.8	東京/アリアル会議室 ANNEX	Coating Process Fundamentals Program, Industrial Partnership in Interfacial and Materials Engineering (IPRIME), University of Minnesota
第23回関西支部コロイド・界 面実践講座	2019.1.11	大阪/関西大学 千里山キャン パス	(公社)日本化学会コロイドお よび界面化学部会関西支部
色材マテリアル講座	2019.1.30	大阪/ドーンセンター	(一社)色材協会 関西支部
医薬品製造に関わるGMPの最 新動向:講演会&見学会	2019.2.7	大阪/大阪科学技術センター	(公社)化学工学会関西支部
平成30年度 第3回講演会	2019.2.8	東京/日本ペイントホールディング ス(株)	日本塗装技術協会
第28回顔料分散講座	2019.2.18	東京/東京塗料会館	(一社)色材協会

### 10.3 後援 1 件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
次世代放射光計画「第3回コウリションコンファレンス」	2018.12.19	東京/日本橋ライフサイエンスHUB	(一財)光科学イノベーションセンター

## 11. 刊行物

### 11.1 「粉体技術」

編集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会  
発行 (一社)日本粉体工業技術協会  
月刊誌 (1,500円・税別) (A4版 約100ページ 約1,500部/月)

### 11.2 日本粉体工業技術協会 事業案内(和文2018年度版) A4版 11ページ

編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会  
発行:平成30年6月(700部)

### 11.3 日本粉体工業技術協会 会員名簿(2018/2019年度版) A4版 104ページ

編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会  
発行:平成30年12月(850部)

### 11.4 第53回粉体入門セミナーⅠ テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
共催 (一社)粉体工学会(企画)  
協賛 (公社)化学工学会  
発行 2018年6月5日(A4版/137ページ/93部)

### 11.5 第54回粉体入門セミナーⅡ テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
共催 (一社)粉体工学会(企画)  
協賛 (公社)化学工学会  
発行 2018年6月18日(A4版/230ページ/70部)

### 11.6 第55回粉体入門セミナーⅢ テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
共催 (一社)粉体工学会(企画)  
協賛 (公社)化学工学会  
発行 2018年7月11日(A4版/182ページ/75部)

### 11.7 第67回粉体技術専門講座 テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
企画 粉体ハンドリング分科会  
発行 2018年8月21日(A4版/126ページ/51部)

### 11.8 第68回粉体技術専門講座 テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
企画 晶析分科会  
発行 2019年1月29日(A4版/142ページ/35部)

### 11.9 第69回粉体技術専門講座 テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
企画 粉体ハンドリング分科会  
発行 2019年2月19日(A4版/122ページ/52部)

### 11.10 粉体エンジニア早期養成講座第1回[粉体工学基礎論]

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
協賛 (公社)化学工学会  
発行 2018年7月5日(A4版/90ページ/20部)

### 11.11 粉体エンジニア早期養成講座第2回[計測・測定]

主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
協賛 (公社)化学工学会  
発行 2018年8月21日(A4版/100ページ/18部)

- 11.12 粉体エンジニア早期養成講座第3回[乾燥]  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
 協賛 (公社)化学工学会  
 発行 2018年9月13日(A4版/100ページ/24部)
- 11.13 粉体エンジニア早期養成講座第4回[粉砕]  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
 協賛 (公社)化学工学会  
 発行 2018年10月11日(A4版/100ページ/25部)
- 11.14 粉体エンジニア早期養成講座第5回[粒子加工]  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
 協賛 (公社)化学工学会  
 発行 2018年11月14日(A4版/78ページ/27部)
- 11.15 粉体エンジニア早期養成講座第6回[集じん]  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
 協賛 (公社)化学工学会  
 発行 2018年12月4日(A4版/108ページ/22部)
- 11.16 粉体エンジニア早期養成講座第7回[混合・混練]  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
 協賛 (公社)化学工学会  
 発行 2018年12月13日(A4版/129ページ/17部)
- 11.17 粉体エンジニア早期養成講座第8回[ろ過]  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会  
 協賛 (公社)化学工学会  
 発行 2018年1月31日(A4版/173ページ/18部)
- 11.18 粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】 ppt資料  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会/(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
 協力 (地独)大阪産業技術研究所  
 企画 (一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会  
 発行 平成30年9月20日(A4版/144ページ/90部)
- 11.19 粉じん爆発・火災安全研修【中級/技術編】 ppt資料  
 主催 (一社)日本粉体工業技術協会/(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所  
 企画 (一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会  
 後援 (公社)産業安全技術協会  
 発行 平成31年2月21日(A4版/108ページ/85部)
- 11.20 粉じん爆発情報セミナー  
 編集 (一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会  
 発行 平成30年11月28日(A4版/28ページ)
- 11.21 APPIE annual Report 2017  
 編集 (一社)日本粉体工業技術協会 海外交流委員会  
 発行 平成30年6月8日(A4版/8ページ/500部)
- 11.22 粉体技術総覧 2018/2019  
 編集 (一社)日本粉体工業技術協会  
 発行 平成30年11月28日(A4版/208ページ/15000部)
- 11.23 アカデミックコーナー「若手研究者が語る未来の粉体技術」の紹介(国際粉体工業展東京2018)  
 編集 (一社)日本粉体工業技術協会  
 発行 平成30年11月29日(A4版/15ページ/350部)